

小田原市
介護予防把握事業
調査結果報告書

令和4年2月
小田原市

目次

第1章 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査の設計	1
(1) 調査項目	1
(2) 調査対象者	1
(3) 調査方法	1
(4) 調査の期間	1
3 調査の回収数・回収率	2
4 判定の条件	3
5 報告書の見方	7
6 用語の定義	7
第2章 調査結果等からみた本市の高齢者像	9
1 調査結果の分析について	9
2 高齢者人口・調査対象者の状況	10
3 回答者の属性	12
4 一般高齢者・リスク該当者の状況	14
(1) 一般高齢者とリスク該当者	14
(2) リスク該当者と7種類リスクの出現率	17
5 基本チェックリスト（25項目）の回答結果	22
6 他リスクとの関連	32
第3章 日常生活圏域ごとの分析結果	35
1 日常生活圏域ごとのリスク別出現率	35
2 日常生活圏域ごとの課題	44
(1) 第1圏域（しろやま）	44
(2) 第2圏域（はくおう）	46
(3) 第3圏域（じょうなん）	48
(4) 第4圏域（はくさん）	50
(5) 第5圏域（ひがしとみず）	52
(6) 第6圏域（とみず）	54
(7) 第7圏域（さくらい）	56
(8) 第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）	58

(9) 第9圏域（しもふなか）	60
(10) 第10圏域（とよかわ・かみふなか）	62
(11) 第11圏域（そが・しもそが・こうづ）	64
(12) 第12圏域（たちばな）	66
第4章 独自設問の分析結果.....	69
1 家族や生活状況について	69
2 運動・閉じこもりについて	73
3 転倒について.....	75
4 物忘れについて	78
5 毎日の生活について.....	81
6 地域での活動について.....	98
7 健康について.....	106
8 小田原市で実施していることについて.....	108
第5章 これまでの調査結果との比較.....	115
1 5年間の総括.....	115
2 日常生活圏域ごとの比較.....	120
(1) 第1圏域（しろやま）	124
(2) 第2圏域（はくおう）	126
(3) 第3圏域（じょうなん）	128
(4) 第4圏域（はくさん）	130
(5) 第5圏域（ひがしとみず）	132
(6) 第6圏域（とみず）	134
(7) 第7圏域（さくらい）	136
(8) 第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）	138
(9) 第9圏域（しもふなか）	140
(10) 第10圏域（とよかわ・かみふなか）	142
(11) 第11圏域（そが・しもそが・こうづ）	144
(12) 第12圏域（たちばな）	146
資料編	149
1 調査票.....	149
2 結果票.....	157

第1章

調査概要

第1章 調査概要

1 調査の目的

本事業は、介護予防・日常生活支援総合事業を推進するため、本市の要支援・要介護認定者を除く70歳及び昨年度の調査で未回答の71～74歳の方を対象に、「個別の生活実態」を調査しました。その調査結果から現状の「日常生活圏域別の高齢者の生活実態」及び「市全体における高齢者の生活実態」の把握及び課題、地域特性の抽出を行い、今後の一般介護予防事業等の展開について検討、評価していくとともに、抽出された地域課題、地域特性を明確化することで、地域包括ケアシステムの構築を推進していく上での基礎資料とすることを目的としています。調査結果については電子データ化し、日常生活圏域における地域活動の基礎資料とするほか、生活機能が低下傾向にある高齢者について、個別の課題に応じた適切な支援・サービスに繋げるために活用します。

2 調査の設計

(1) 調査項目

国が示した基本チェックリスト（25設問）と市独自設問で作成しました。

（※調査票は資料編に記載しています）

なお、対象者の判定・集計処理については、国が示した基準に基づいて行いました。

(2) 調査対象者

①小田原市在住で、令和3年度中に70歳に到達する方2,666名

②小田原市在住で、令和2年度実施の本調査に未回答であり、令和2年度中に71歳から74歳に到達する方1,498名（昨年度に続き2回目の調査票発送）

以上、4,164名を調査対象としました。

(3) 調査方法

郵送による配布・回収を実施しました。

(4) 調査の期間

令和3年5月1日から5月14日までとし、調査期間終了後の返信状況を考慮し、令和3年7月24日回収分までを有効回答としました。

3 調査の回収数・回収率

調査の回収数・回収率は以下のとおりです。督促状を1回発送し、有効回収数は2,518件、有効回収率は60.5%となっています。

70歳の有効回収率は76.1%、71～74歳の有効回収率は32.6%となっています。

日常生活圏域別にみると、「第7圏域（さくらい）」が65.8%、「第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）」が62.8%と高くなっています。

表 1.1 調査票回収状況（年齢階級別・日常生活圏域別）

日常生活圏域	全体			70歳			71～74歳		
	配布数	有効回収数	有効回収率	配布数	有効回収数	有効回収率	配布数	有効回収数	有効回収率
市全体	4,164	2,518	60.5%	2,666	2,029	76.1%	1,498	489	32.6%
第1圏域(しろやま)	418	253	60.5%	254	198	78.0%	164	55	33.5%
第2圏域(はくおう)	365	212	58.1%	222	155	69.8%	143	57	39.9%
第3圏域(じょうなん)	353	207	58.6%	218	169	77.5%	135	38	28.1%
第4圏域(はくさん)	360	220	61.1%	228	175	76.8%	132	45	34.1%
第5圏域(ひがしとみず)	256	152	59.4%	166	124	74.7%	90	28	31.1%
第6圏域(とみず)	291	181	62.2%	201	152	75.6%	90	29	32.2%
第7圏域(さくらい)	260	171	65.8%	176	142	80.7%	84	29	34.5%
第8圏域(さかわこやわた・ふじみ)	419	263	62.8%	272	208	76.5%	147	55	37.4%
第9圏域(しもふなか)	323	196	60.7%	198	152	76.8%	125	44	35.2%
第10圏域(とよかわ・かみふなか)	438	272	62.1%	286	222	77.6%	152	50	32.9%
第11圏域(そが・しもそが・こうづ)	401	237	59.1%	266	204	76.7%	135	33	24.4%
第12圏域(たちばな)	280	154	55.0%	179	128	71.5%	101	26	25.7%

日常生活圏域	地域包括支援センター名	自治会連合会名
第1圏域	しろやま	緑、万年、幸、芦子
第2圏域	はくおう	新玉、山王網一色、足柄
第3圏域	じょうなん	十字、片浦、早川、大窪
第4圏域	はくさん	二川、久野
第5圏域	ひがしとみず	東富水
第6圏域	とみず	富水
第7圏域	さくらい	桜井
第8圏域	さかわ こやわた・ふじみ	酒匂・小八幡、富士見
第9圏域	しもふなか	下府中
第10圏域	とよかわ・かみふなか	豊川、上府中
第11圏域	そが・しもそが・こうづ	曾我、下曾我、国府津
第12圏域	たちばな	前羽、橋北

4 判定の条件

■判定の設定条件

項目	判定条件
高齢者像	
一般高齢者	・基本チェックリスト判定条件の非該当者
基本チェックリスト リスク該当者	・「暮らし」「運動」「栄養」「口腔」「外出」「物忘れ」「こころ」 の7項目のうち1項目以上の該当者
暮らしリスク	・次の設問20項目で10点以上→リスク該当者 ・0点のうち、未回答が10個以上→「判定不可」
運動リスク	・次の設問5項目で3点以上→リスク該当者 ・0点のうち、未回答が3個以上→「判定不可」
栄養リスク	・次の設問2項目で2点以上→リスク該当者 ・4-問2が未回答→「判定不可」
口腔リスク	・次の設問3項目で2点以上→リスク該当者 ・0点のうち、未回答が2個以上→「判定不可」
外出リスク	・2-問4で1点→リスク該当者 ・2-問4が未回答→「判定不可」
物忘れリスク	・次の設問3項目で1点以上→リスク該当者 ・0点のうち、未回答が1個以上→「判定不可」
こころリスク	・次の設問5項目で2点以上→リスク該当者 ・0点のうち、未回答が2個以上→「判定不可」

■暮らしリスク

問番号	設問	配点	選択肢
2-問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	3. できない
		0	1. できるし、している 2. できるけどしていない
2-問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	3. できない
		0	1. できるし、している 2. できるけどしていない
2-問3	15分位続けて歩いていますか	1	3. できない
		0	1. できるし、している 2. できるけどしていない
2-問4	週に1回以上は外出していますか	1	1. ほとんど外出しない
		0	2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上
2-問6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	1. とても減っている 2. 減っている
		0	3. あまり減っていない 4. 減っていない

問番号	設問	配点	選択肢
3-問 1	この1年間に転んだことがありますか	1	1. 何度もある
		0	2. 1度ある 3. ない
3-問 2	転倒に対する不安は大きいですか	1	1. とても不安である
		0	2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない
4-問 1	6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1	1. はい
		0	2. いいえ
4-問 2	身長・体重（数字を記入）	1	1. BMIが18.5未満
		0	2. BMIが18.5以上
4-問 3	半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	1. はい
		0	2. いいえ
4-問 4	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	1. はい
		0	2. いいえ
4-問 5	口の渇きが気になりますか	1	1. はい
		0	2. いいえ
5-問 1	周りからいつも「同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか	1	1. はい
		0	2. いいえ
5-問 2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	2. いいえ
		0	1. はい
5-問 3	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	1. はい
		0	2. いいえ
6-問 1	バスや電車で一人で外出していますか	1	3. できない
		0	1. できるし、している 2. できるけどしていない
6-問 2	日用品の買い物をしていますか	1	3. できない
		0	1. できるし、している 2. できるけどしていない
6-問 5	預貯金の出し入れをしていますか	1	3. できない
		0	1. できるし、している 2. できるけどしていない
6-問11	友人の家を訪ねていますか	1	2. いいえ
		0	1. はい
6-問12	家族や友人の相談にのっていますか	1	2. いいえ
		0	1. はい

■運動リスク

問番号	設問	配点	選択肢
2-問1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	3. できない
		0	1. できるし、している 2. できるけどしていない
2-問2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	3. できない
		0	1. できるし、している 2. できるけどしていない
2-問3	15分位続けて歩いていますか	1	3. できない
		0	1. できるし、している 2. できるけどしていない
3-問1	この1年間に転んだことがありますか	1	1. 何度もある
		0	2. 1度ある 3. ない
3-問2	転倒に対する不安は大きいですか	1	1. とても不安である
		0	2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

■栄養リスク

問番号	設問	配点	選択肢
4-問1	6ヶ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1	1. はい
		0	2. いいえ
4-問2	身長・体重（数字を記入）	1	1. BMIが18.5未満
		0	2. BMIが18.5以上

■口腔リスク

問番号	設問	配点	選択肢
4-問3	半年前と比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	1. はい
		0	2. いいえ
4-問4	お茶や汁物等でむせることがありますか	1	1. はい
		0	2. いいえ
4-問5	口の渇きが気になりますか	1	1. はい
		0	2. いいえ

■外出リスク

問番号	設問	配点	選択肢
2-問4	週に1回以上は外出していますか	1	1. ほとんど外出しない
		0	2. 週1回 3. 週2~4回 4. 週5回以上
2-問6	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	1. とても減っている 2. 減っている
		0	3. あまり減っていない 4. 減っていない

■物忘れリスク

問番号	設問	配点	選択肢
5-問1	周りからいつも「同じことを聞く」などの物忘れがあると言われますか	1	1. はい
		0	2. いいえ
5-問2	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	2. いいえ
		0	1. はい
5-問3	今日が何月何日かわからない時がありますか	1	1. はい
		0	2. いいえ

■こころリスク

問番号	設問	配点	選択肢
8-問3	(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1	1 はい
		0	2 いいえ
8-問4	(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1	1 はい
		0	2 いいえ
8-問5	(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが、今ではおっくうに感じる	1	1 はい
		0	2 いいえ
8-問6	(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1	1 はい
		0	2 いいえ
8-問7	(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1	1 はい
		0	2 いいえ

5 報告書の見方

- 集計表やグラフの%表示は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。
- 複数回答の設問では、回答比率の合計が100%を超える場合があります。
- 対象者1人で複数のリスクに該当する重複該当者がいるため、各リスク該当者数の合計数が回答者数を上回る場合があります。
- 今年度調査は70歳の高齢者と昨年度調査で未回答だった71～74歳の高齢者を対象としています。「70歳」と「71～74歳」の区分で結果を掲載している箇所では、対象者の条件が異なることと、対象者数に差があることから「70歳」と「71～74歳」を比較はしていません。

6 用語の定義

報告書に用いられる用語は、以下のとおりです。

用語	解説
一般高齢者	日々の生活において元気に暮らしている方。
リスク	この報告書においては「危険性」を意味し、実際にそれが起こって危険となる可能性を表した言葉です。例えば「暮らしリスク」は、高齢者が生活機能低下に陥る危険性のことを指しています。
リスク別出現率	調査の有効回収数（回答数）のうち、各リスク該当者の占める割合を表しています。 $\text{リスク別出現率} = \text{リスク該当者数} \div \text{有効回収数}$
基本チェックリストリスク該当者	本調査における調査票内の基本チェックリスト該当項目において、「暮らし」「運動」「栄養」「口腔」「外出」「物忘れ」「こころ」の7項目のうち1項目以上に該当した方。 ※以下、基本チェックリストリスク該当者を「 <u>リスク該当者</u> 」と表記します。
リスク該当者出現率	調査の有効回収数（回答数）のうち、リスク該当者の割合を表しています。 $\text{リスク該当者出現率} = \text{リスク該当者数} \div \text{有効回収数}$ ※回答者の中に未回答項目がある場合、各リスク該当者数の合計が回答者数の合計を下回ることがあります。

第2章

調査結果等からみた本市の高齢者像

第2章 調査結果等からみた本市の高齢者像

1 調査結果の分析について

調査結果の分析にあたっては、以下の分析を行い本市の介護予防事業のあり方や事業効果等について検証しました。なお、本調査結果は、要介護認定を受けていない70歳と昨年度調査において未回答であった71～74歳（令和3年4月1日時点）の高齢者像となります。

分析1 一般高齢者とリスク該当者の割合

市全域と日常生活圏域別に高齢者像を把握するために、一般高齢者、リスク該当者の構成割合を分析しました。

分析2 リスク該当者の出現率

リスク該当者の出現率を把握するために、リスク該当者をリスク別、年齢階級別、家族構成別、BMI別に分析しました。

分析3 基本チェックリストの回答結果

基本チェックリスト（25設問）の設問において、リスク側に回答した方の回答結果を分析しました。

分析4 7種類のリスクの他リスクとの関連

7種類のリスク該当者ごとに他の6リスク該当者との重複状況を集計し、リスクの重要度の分析をしました。

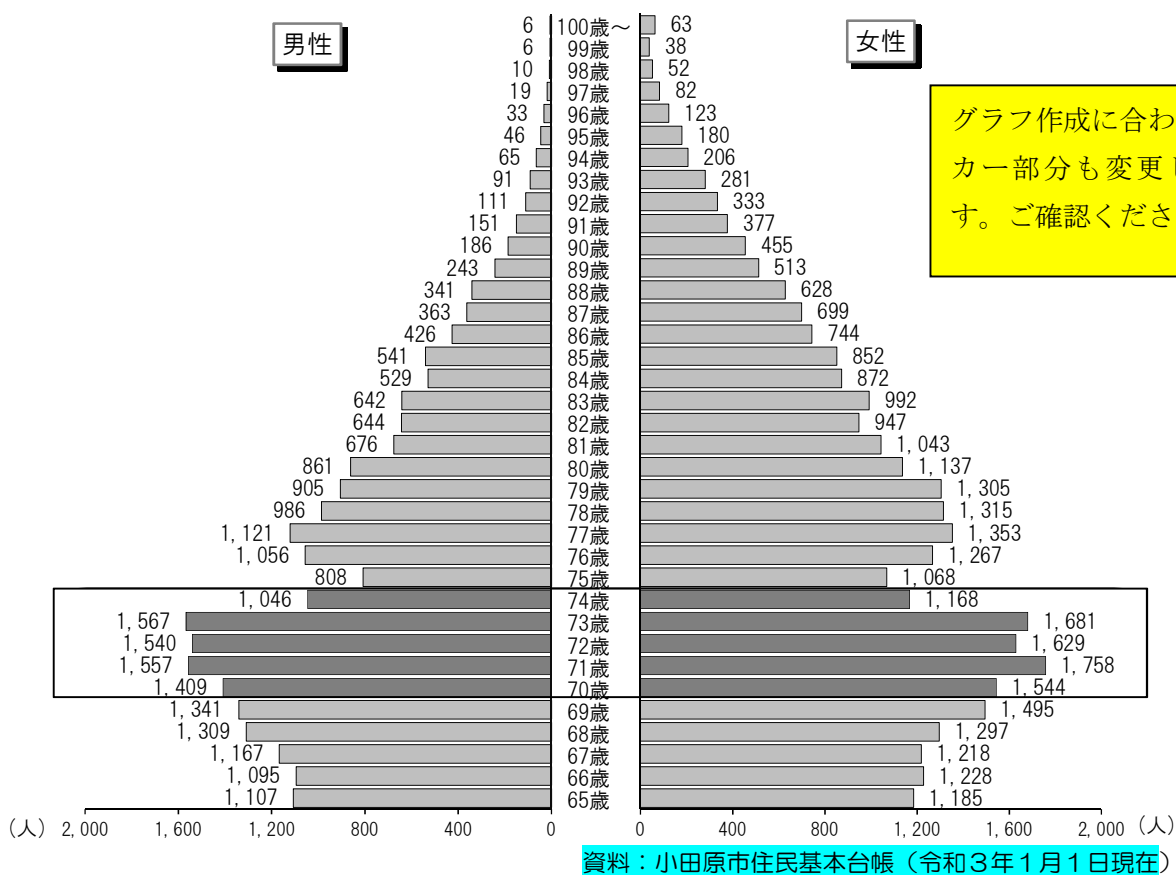
2 高齢者人口・調査対象者の状況

本市全体の高齢者像をみるために、高齢者人口（令和3年1月1日現在）と調査対象者の状況をみました。

本市の高齢者人口を1歳階級別にみると、**男性は73歳、女性は71歳の人口が最も多くなっています。**70～74歳をみると、男女ともに74歳の人口が少なくなっています。

5歳階級別の要支援・要介護認定率をみると、年齢階級が上がるほど高くなり、85～89歳で40%を超え、90歳以上では70%を超えています。

図 2.1 小田原市 65 歳以上人口ピラミッド（性別）



グラフ作成に合わせてマーカー部分も変更しています。ご確認ください。

図 2.2 高齢者人口と要支援・要介護認定者数の比較（5歳階級別）

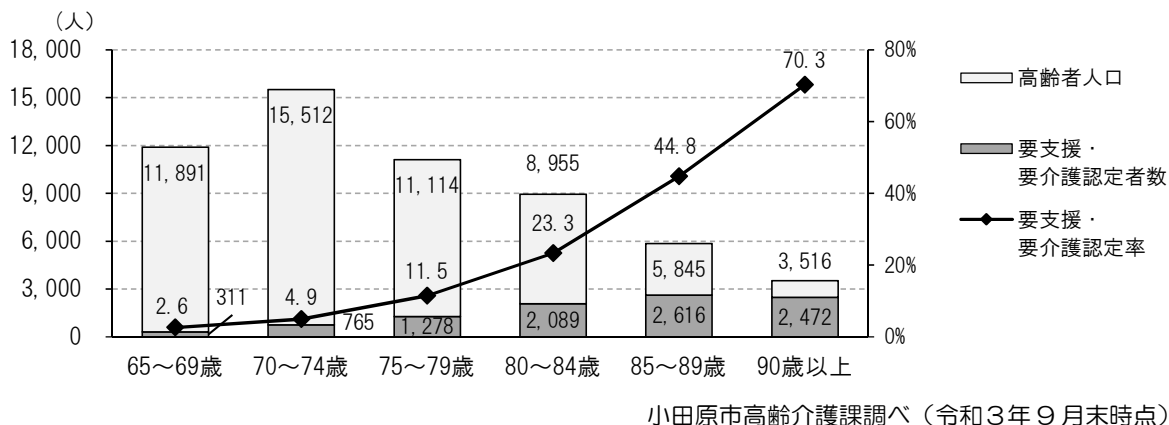


表 2.3 回答者の人口構成（性別・年齢階級別・日常生活圏域別）

上段：人 下段：%

日常生活圏域	70歳			71～74歳			合計			平均年齢
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
市全体	978	1,051	2,029	248	241	489	1,226	1,292	2,518	70.3歳
	48.2	51.8	100.0	50.7	49.3	100.0	48.7	51.3	100.0	
第1圏域 (しろやま)	98	100	198	29	26	55	127	126	253	70.4歳
	49.5	50.5	100.0	52.7	47.3	100.0	50.2	49.8	100.0	
第2圏域 (はくおう)	77	78	155	29	28	57	106	106	212	70.4歳
	49.7	50.3	100.0	50.9	49.1	100.0	50.0	50.0	100.0	
第3圏域 (じょうなん)	81	88	169	15	23	38	96	111	207	70.3歳
	47.9	52.1	100.0	39.5	60.5	100.0	46.4	53.6	100.0	
第4圏域 (はくさん)	88	87	175	21	24	45	109	111	220	70.4歳
	50.3	49.7	100.0	46.7	53.3	100.0	49.5	50.5	100.0	
第5圏域 (ひがしとみず)	61	63	124	14	14	28	75	77	152	70.3歳
	49.2	50.8	100.0	50.0	50.0	100.0	49.3	50.7	100.0	
第6圏域 (とみず)	77	75	152	17	12	29	94	87	181	70.2歳
	50.7	49.3	100.0	58.6	41.4	100.0	51.9	48.1	100.0	
第7圏域 (さくらい)	58	84	142	13	16	29	71	100	171	70.3歳
	40.8	59.2	100.0	44.8	55.2	100.0	41.5	58.5	100.0	
第8圏域 (さかわ こやわた ・ふじみ)	101	107	208	28	27	55	129	134	263	70.3歳
	48.6	51.4	100.0	50.9	49.1	100.0	49.0	51.0	100.0	
第9圏域 (しもふなか)	75	77	152	30	14	44	105	91	196	70.4歳
	49.3	50.7	100.0	68.2	31.8	100.0	53.6	46.4	100.0	
第10圏域 (とよかわ・ かみふなか)	108	114	222	23	27	50	131	141	272	70.3歳
	48.6	51.4	100.0	46.0	54.0	100.0	48.2	51.8	100.0	
第11圏域 (そが・しもそが ・こうづ)	99	105	204	14	19	33	113	124	237	70.2歳
	48.5	51.5	100.0	42.4	57.6	100.0	47.7	52.3	100.0	
第12圏域 (たちばな)	55	73	128	15	11	26	70	84	154	70.2歳
	43.0	57.0	100.0	57.7	42.3	100.0	45.5	54.5	100.0	

3 回答者の属性

回答者数は市全体で2,518人でした。男性が48.7%、女性が51.3%となっています。

年齢階級別の回答者数は「70歳」が80.6%（2,029人）、「71～74歳」が19.4%（489人）となっています。日常生活圏域別にみると、「第10圏域（とよかわ かみふなか）」が10.8%、「第8圏域（さかわ こやわた・ふじみ）」が10.4%と高くなっています。

BMIをみると、市全体で「やせ」が6.2%、「肥満」が23.9%となっています。

図 2.4 回答者の性別



図 2.5 回答者の年齢階級（性別）

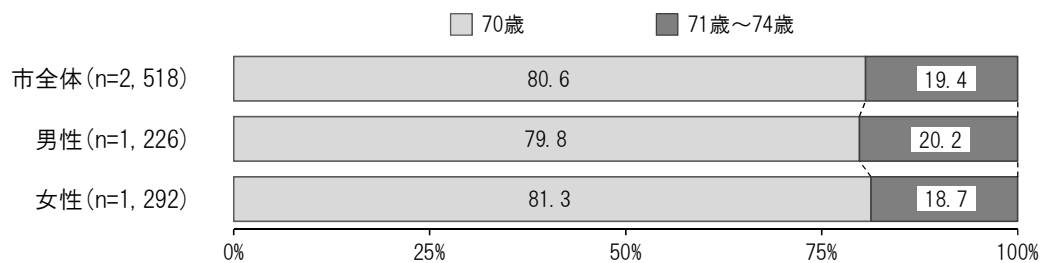


図 2.6 回答者の日常生活圏域

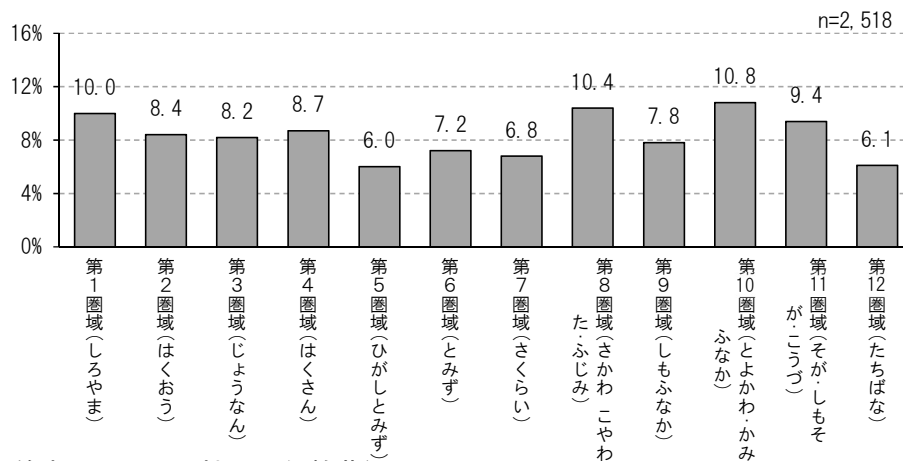


図 2.7 回答者のBMI（性別・年齢階級別）

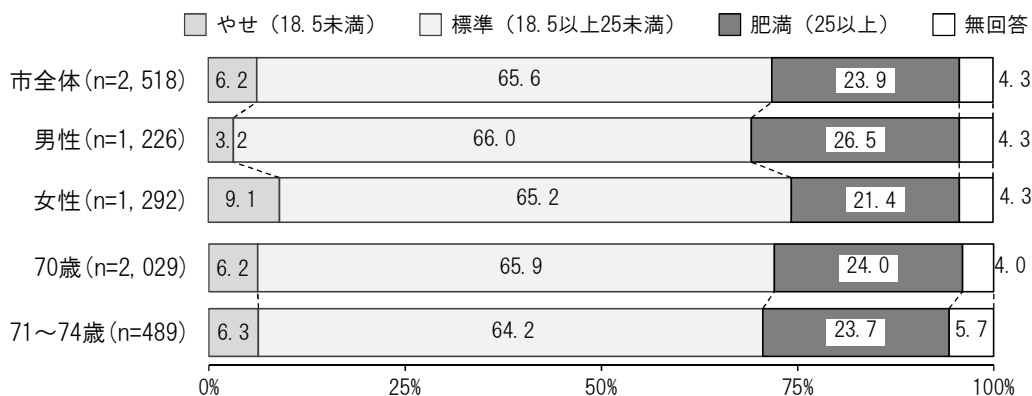


図 2.8 回答者の年齢階級（性別・日常生活圏域別）



4 一般高齢者・リスク該当者の状況

(1) 一般高齢者とリスク該当者

一般高齢者数とリスク該当者の比率は、市全体では一般高齢者が49.2%、リスク該当者が50.8%となっています。

日常生活圏域別にみると、リスク該当者の比率は「第12圏域（たちばな）」が56.5%、「第5圏域（ひがしとみず）」が54.6%と高くなっています。

年齢階級別・日常生活圏域別にみると、70歳では「第12圏域（たちばな）」（55.5%）、71～74歳では「第10圏域（とよかわ・かみふなか）」（70.0%）が最も高くなっています。

図 2.9 一般高齢者とリスク該当者の比率（日常生活圏域別）

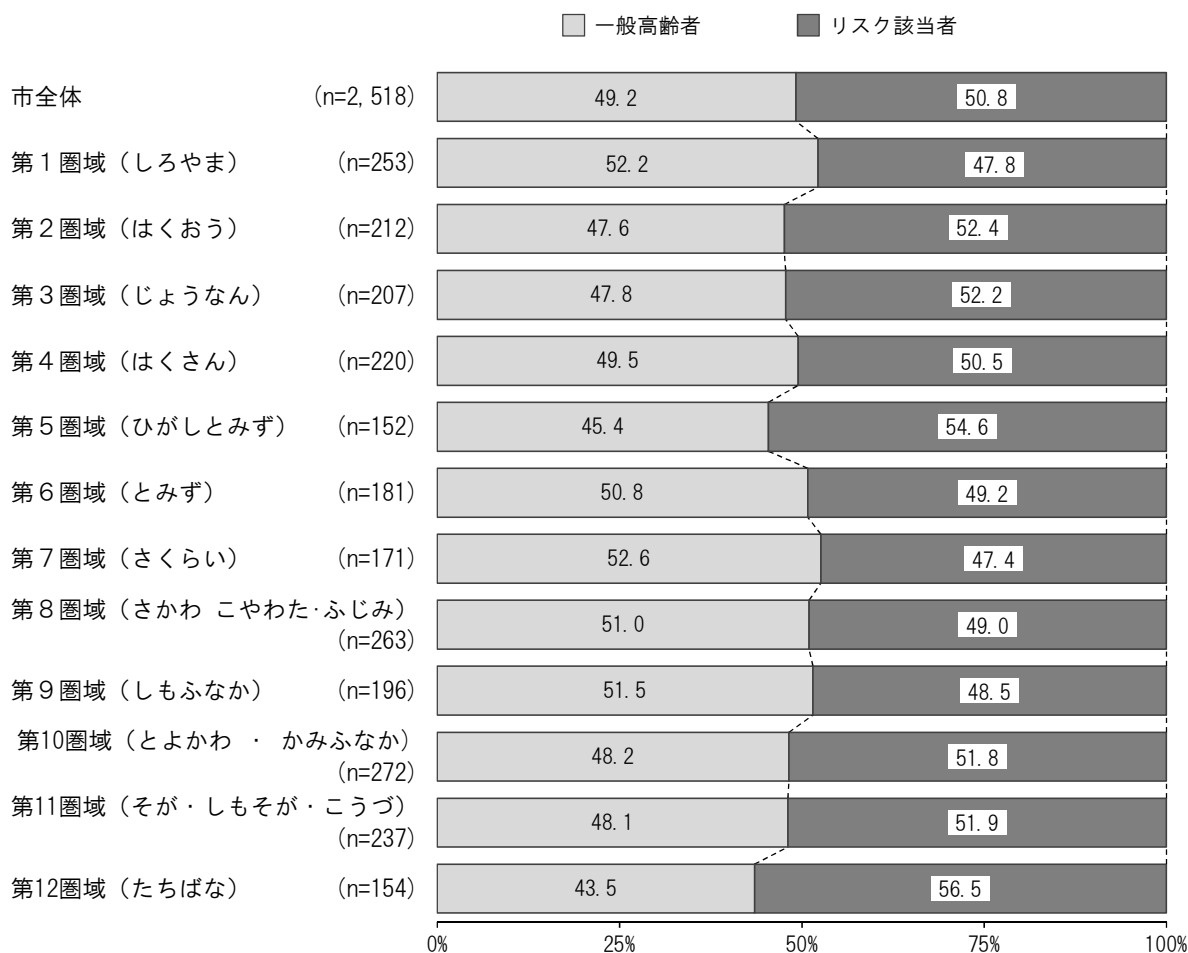
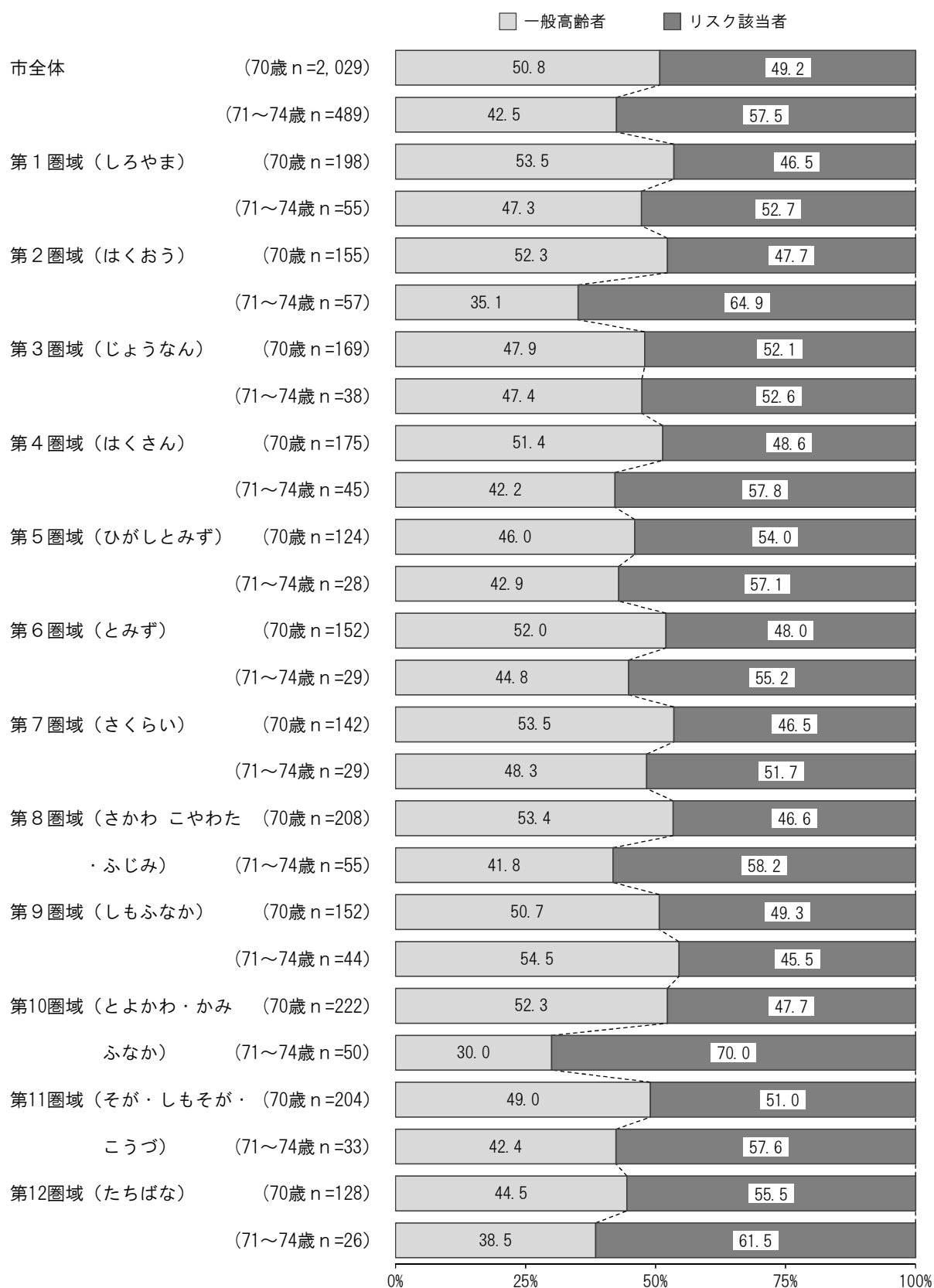


図 2.10 一般高齢者とリスク該当者の比率（年齢階級別・日常生活圏域別）



リスク該当者の比率を性別にみると、男性が53.0%、女性が48.7%となり、男性が女性よりやや高くなっています。

さらにBMI別にみると、市全体・70歳・71～74歳いずれも「やせ」(59.6%・58.4%・64.5%)のリスク該当者比率が高くなっています。

図 2.11 一般高齢者とリスク該当者の比率（性別・年齢階級別）

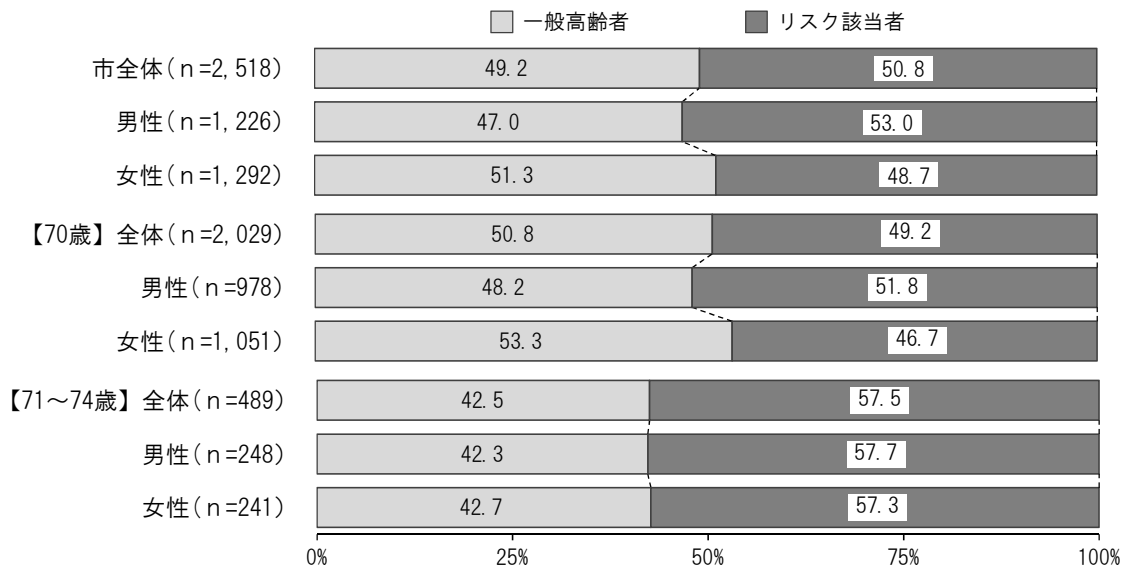
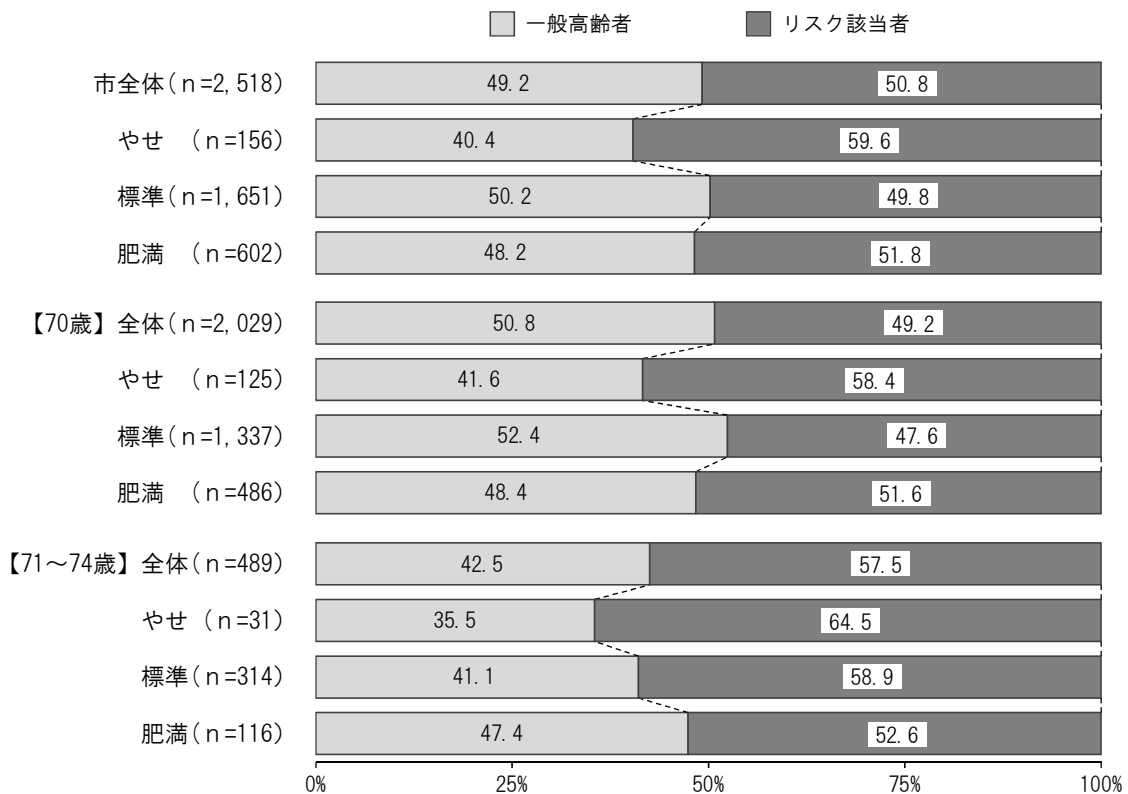


図 2.12 一般高齢者とリスク該当者の比率（年齢階級別・BMI別）

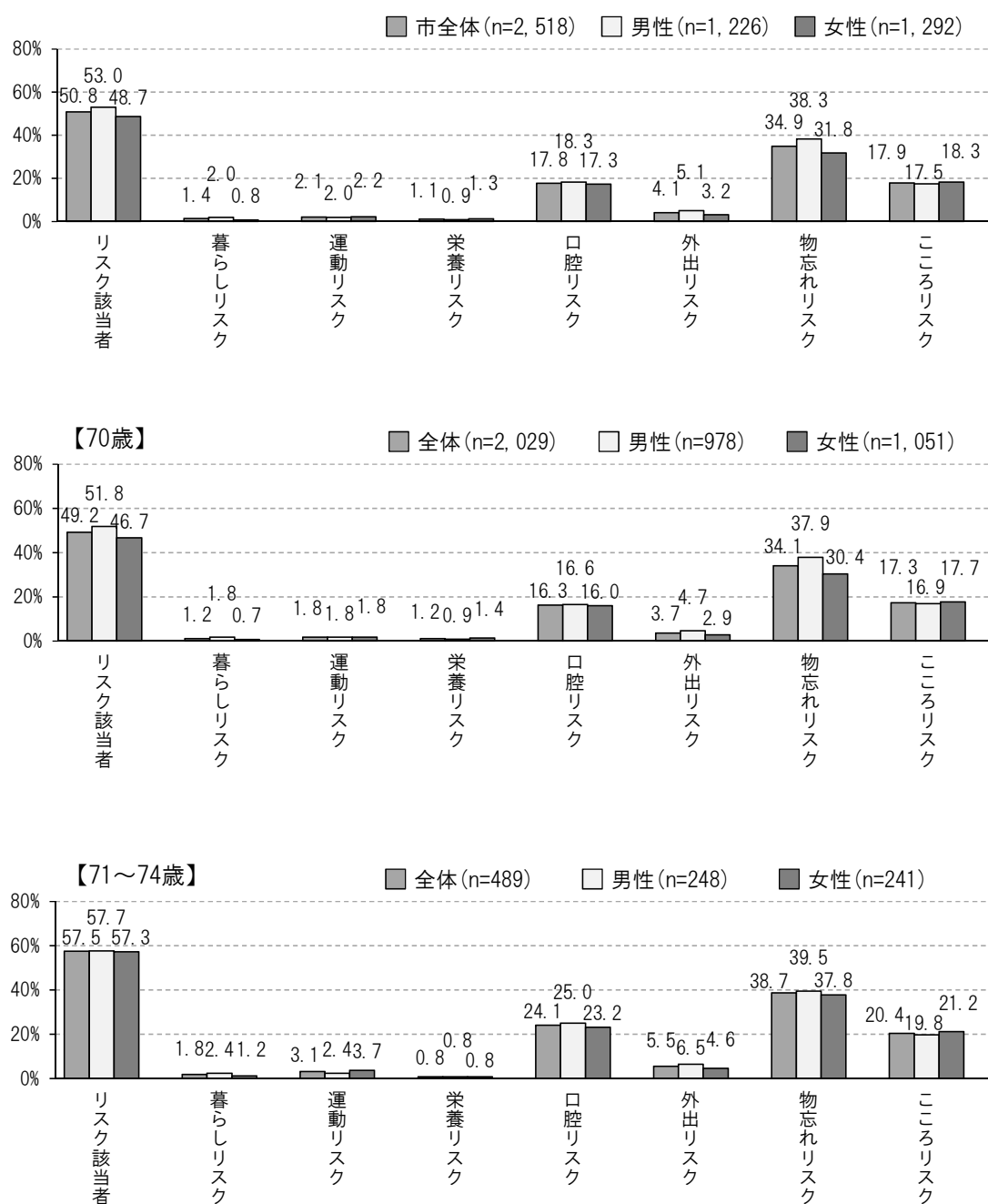


(2) リスク該当者と7種類リスクの出現率

リスク別出現率をみると、市全体では「物忘れリスク」が34.9%と最も高く、次いで「こころリスク」が17.9%、「口腔リスク」が17.8%となっています。

リスク別出現率を性別・年齢階級別にみると、70歳は「物忘れリスク」の男性が37.9%、女性が30.4%と男性が7.5ポイント上回り、71～74歳では「物忘れリスク」の男性が39.5%、女性が37.8%と男性が1.7ポイント上回っています。

図 2.13 リスク該当者、7種類のリスク別出現率（性別・年齢階級別）

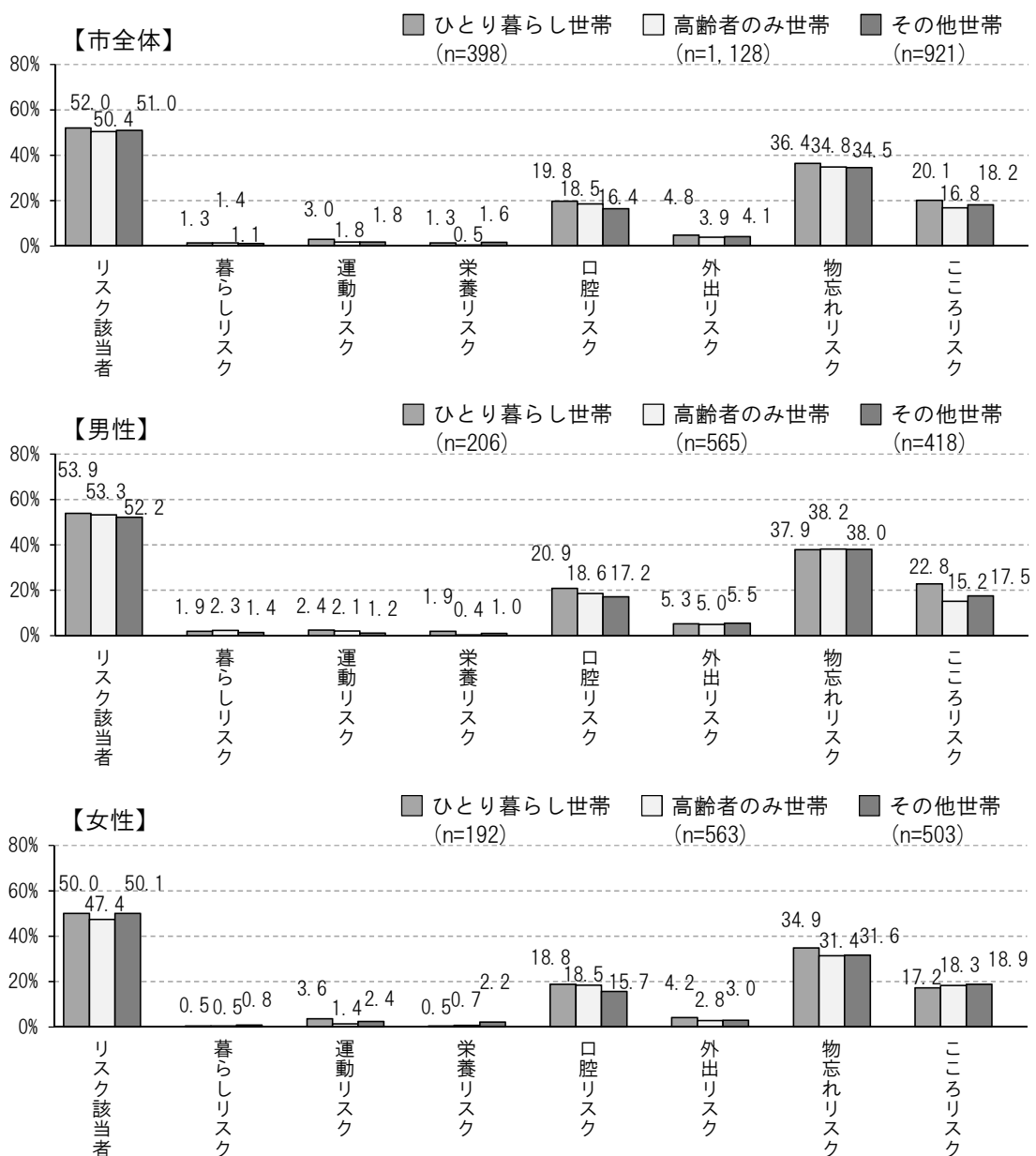


リスク該当者の出現率を家族構成別にみると、市全体ではひとり暮らし世帯の出現率が52.0%となり、他の家族構成と比べて高くなっています。

リスク別出現率を性別・家族構成別にみると、男性ではひとり暮らし世帯が「暮らしリスク」、「外出リスク」、「物忘れリスク」、を除くリスクで他の家族構成より高くなっています。女性ではひとり暮らし世帯が「物忘れリスク」で他の家族構成よりやや高いものの、その他のリスクでは大きな差はありません。

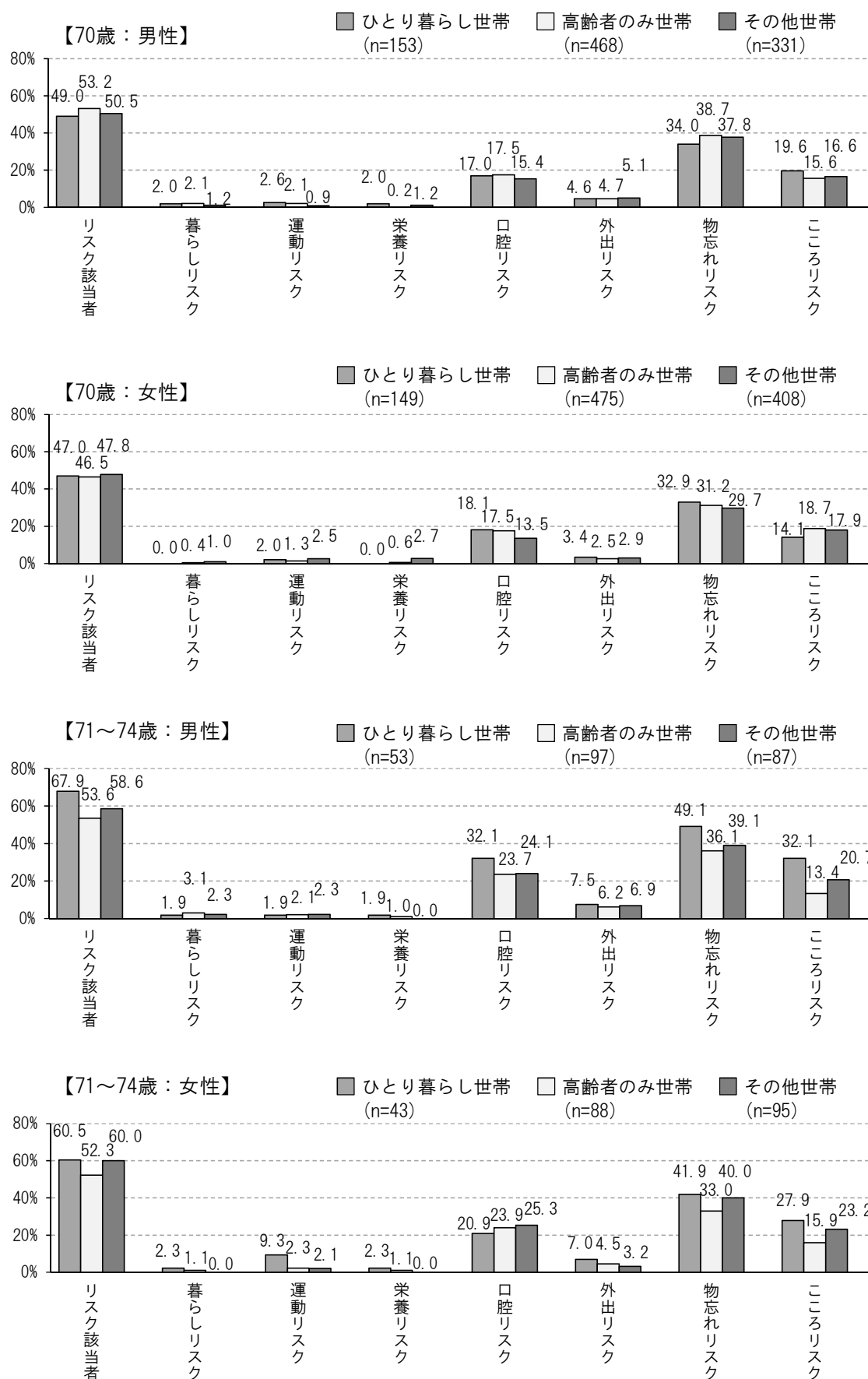
性別・年齢階級別・家族構成別にみると、70歳男性では高齢者のみ世帯の「物忘れリスク」(38.7%)、70歳女性ではひとり暮らし世帯の「物忘れリスク」(32.9%)が最も高くなっています。また、71～74歳では、ひとり暮らし世帯のリスク該当者の出現率が男性で67.9%、女性で60.5%と他の世帯に比べて高くなっています。

図 2.14 リスク該当者、7種類のリスク別出現率（性別・家族構成別）



※「高齢者のみ世帯」は「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」＋「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」
 「その他世帯」は「息子・娘との2世帯」＋「その他」

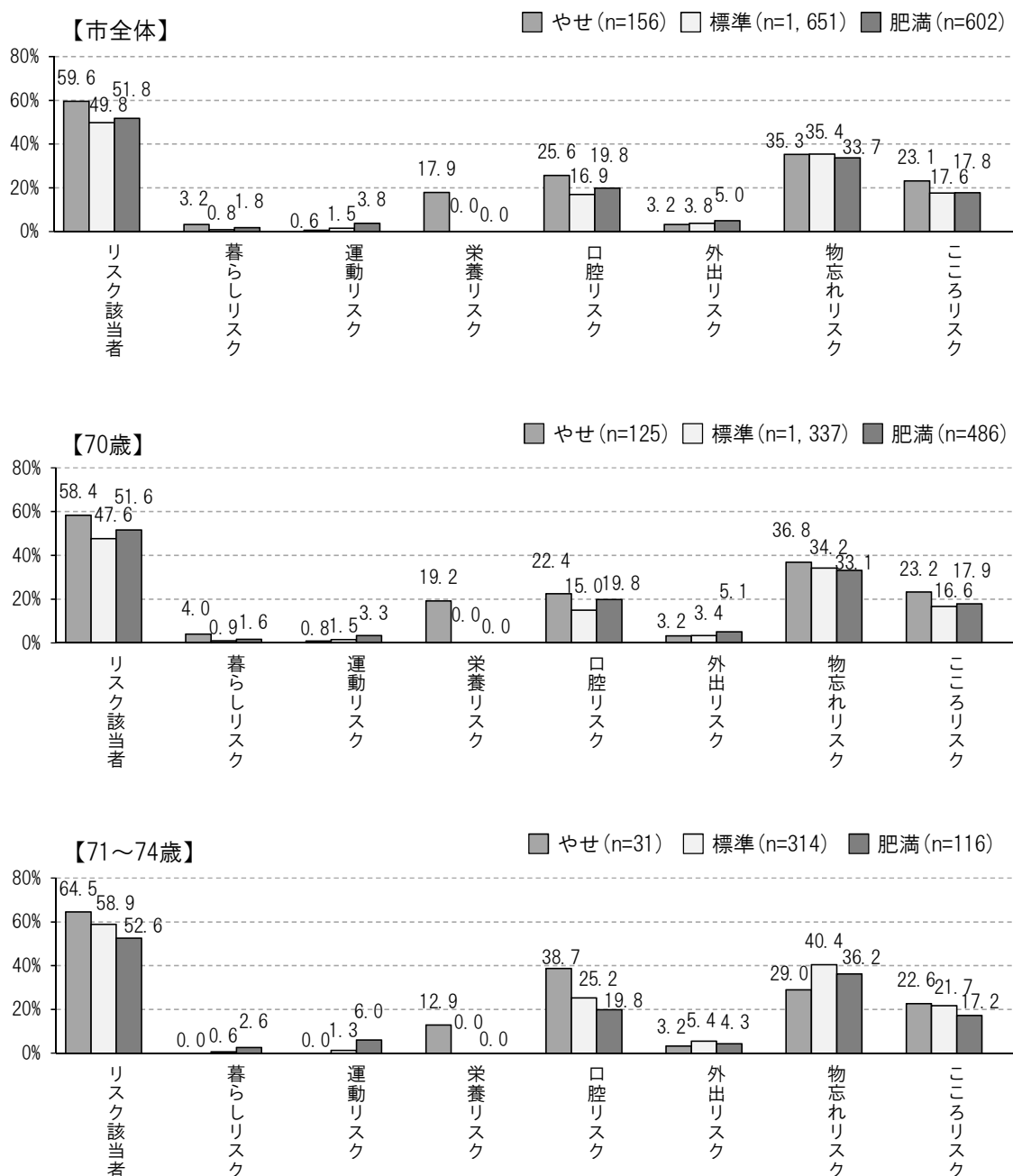
図 2.15 リスク該当者、7種類のリスク別出現率（性別・年齢階級別・家族構成別）



リスク別出現率をBMI別にみると、やせの方の「栄養リスク」が他の体形の方と比べて特に高くなっています。他にもやせの方は、「口腔」、「こころ」、「暮らし」の各リスクで出現率が高くなっています。

さらに年齢階級別にみると、70歳ではやせの方の「物忘れリスク」(36.8%)、71~74歳では標準の方の「物忘れリスク」(40.4%)の出現率が最も高くなっています。

図 2.16 リスク該当者、7種類のリスク別出現率（年齢階級別・BMI別）

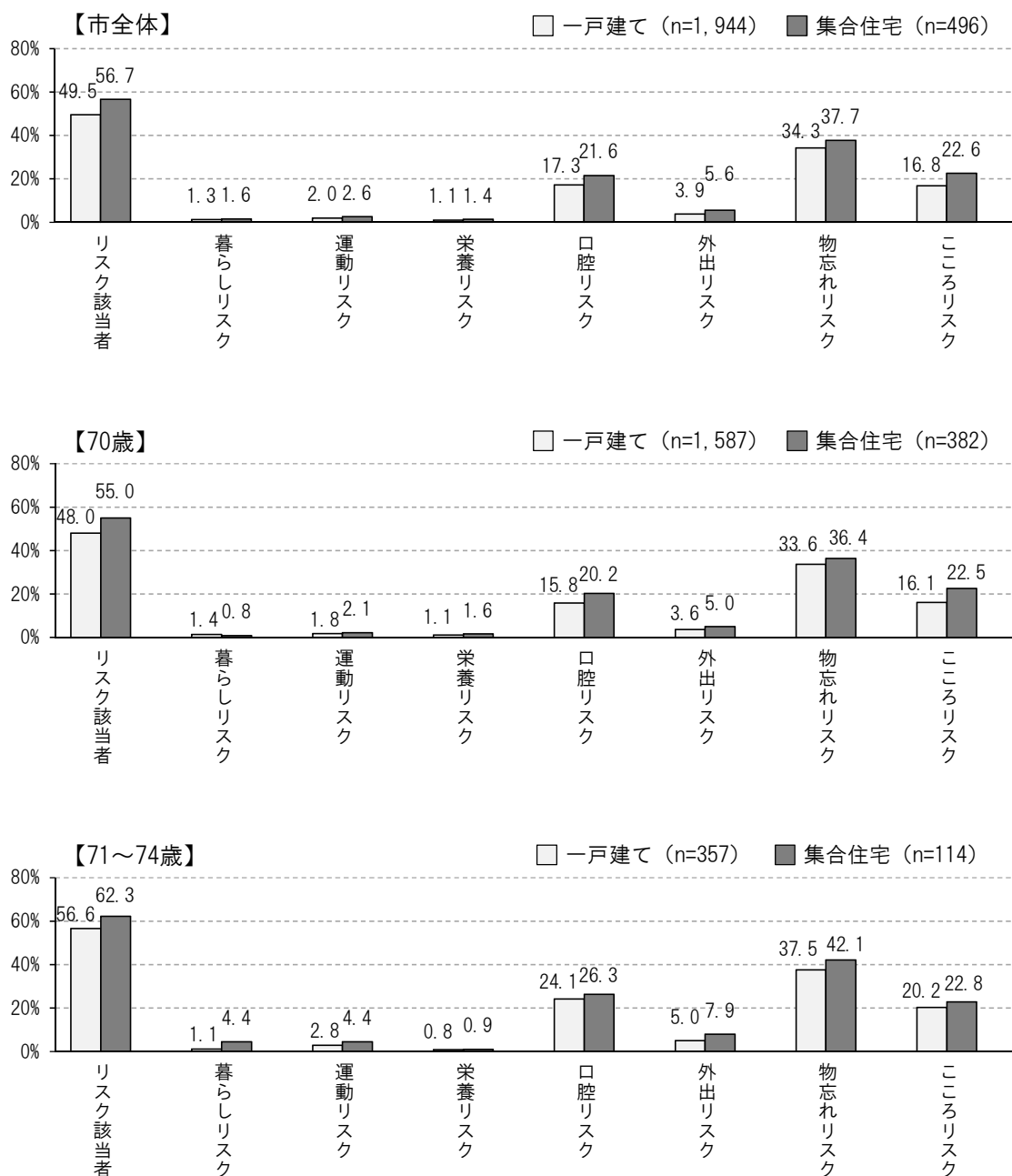


リスク該当者の出現率を居住形態別にみると、集合住宅が56.7%、一戸建てが49.5%となり、集合住宅が7.2ポイント高くなっています。

リスク別出現率を居住形態別にみると、全てのリスクで集合住宅が一戸建てより高くなっています。

さらに年齢階級別にみると、70歳では集合住宅の「物忘れリスク」(36.4%)、71～74歳でも集合住宅の「物忘れリスク」(42.1%)が最も高くなっています。また、70歳の「こころリスク」は一戸建てが16.1%、集合住宅が22.5%と差が最も大きくなっています。

図 2.17 リスク該当者、7種類のリスクの別出現率（年齢階級別・居住形態別）



5 基本チェックリスト（25項目）の回答結果

基本チェックリスト 25 項目のうちでリスク側に回答した方の結果を、「暮らし」「運動」「栄養」「口腔」「外出」「物忘れ」「こころ」のリスク分類別にみています。

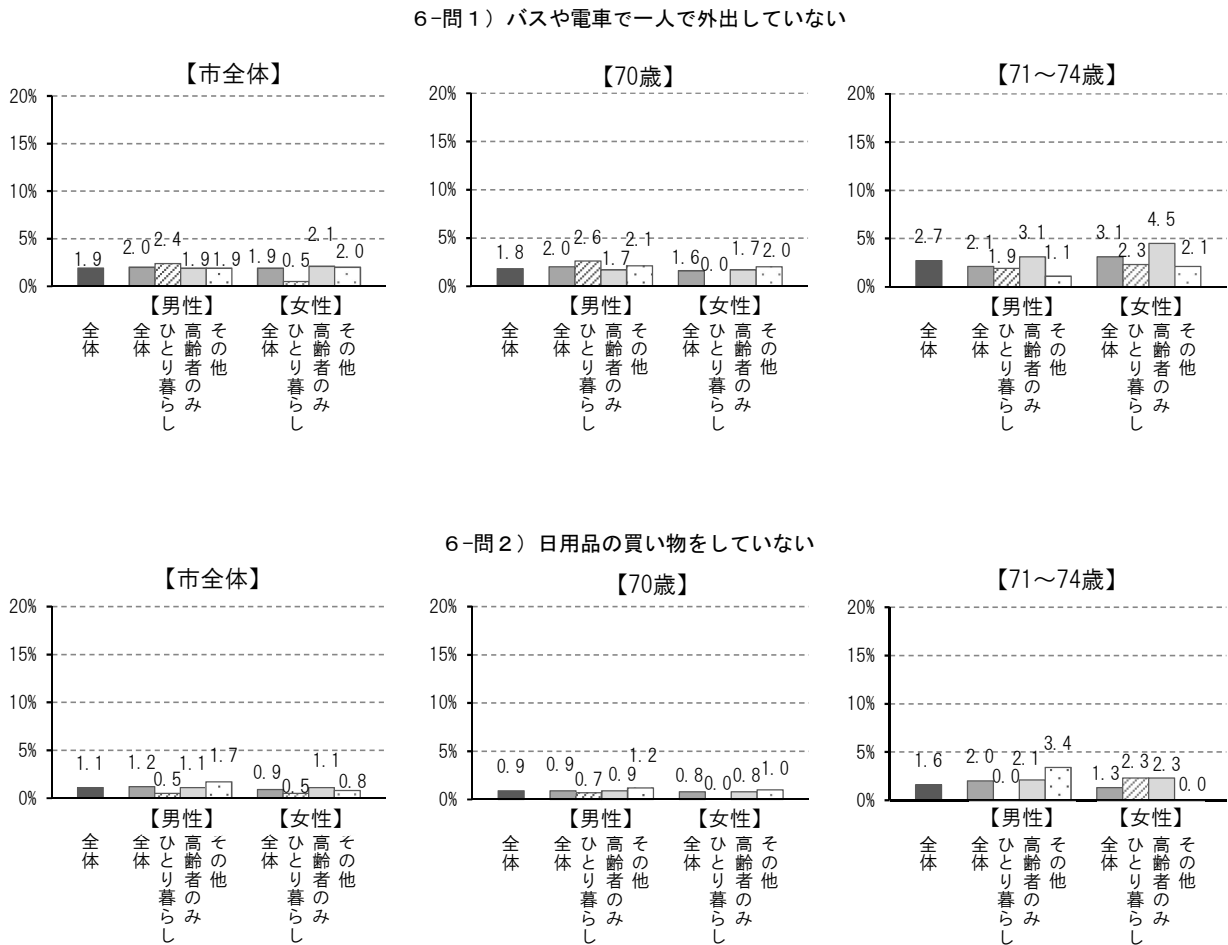
※設問文については、リスク側の表現に言い換えています。

暮らしの回答結果

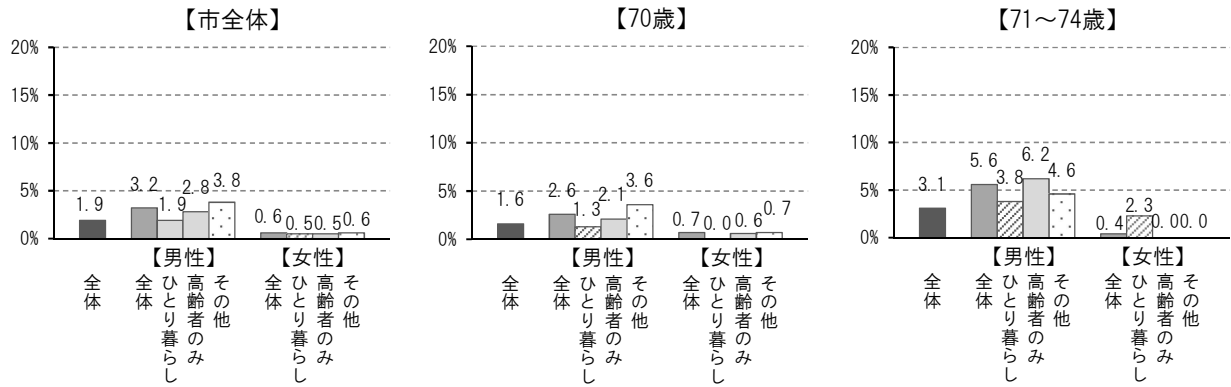
「暮らしリスク」は、下記5項目の回答結果と運動の回答結果（5項目：図 2.19）、栄養の回答結果（2項目：図 2.20）、口腔の回答結果（3項目：図 2.21）、外出の回答結果（2項目：図 2.22）、物忘れの回答結果（3項目：図 2.23）の 20 項目の回答結果から判定していますので、あわせてご覧ください。

暮らしに関する「バスや電車で一人で外出していない」「日用品の買い物をしていない」「預貯金の出し入れをしていない」「友人の家を訪ねていない」「家族や友人の相談にのっていない」では、5項目全てで女性に比べ、男性の方が高くなっています。特に「家族や友人の相談にのっていない」男性のひとり暮らし世帯は、他の家族構成と比べて高くなっています。

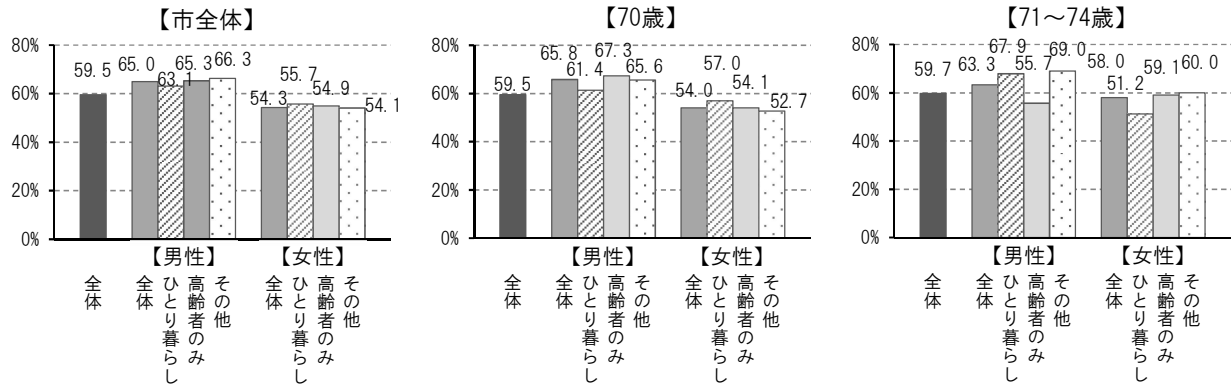
図 2.18 暮らしの回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）



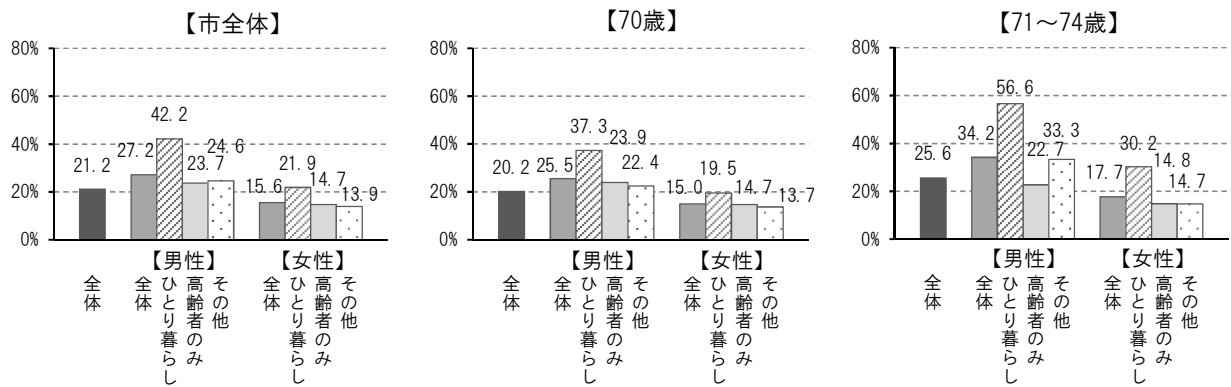
6-問5) 預貯金の出し入れをしていない



6-問11) 友人の家を訪ねていない



6-問12) 家族や友人の相談にのっていない



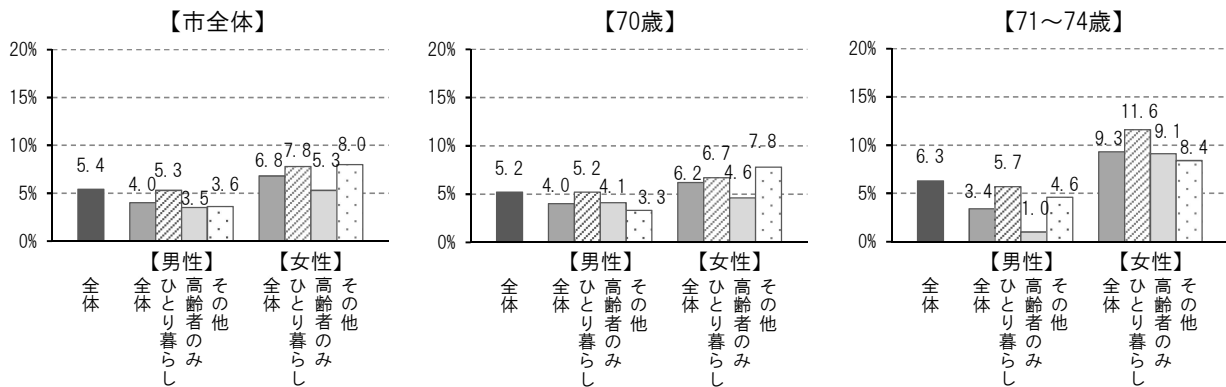
運動の回答結果

「運動リスク」をみると、男性は全体的に女性よりやや低いものの、「この1年間に転んだことがある」の市全体の割合では女性を上回っています。

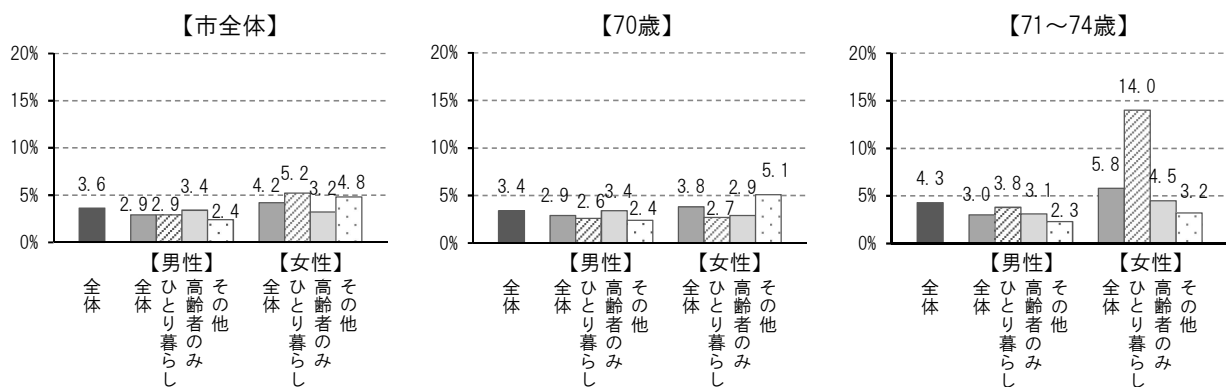
女性をみると、71～74歳のひとり暮らし世帯で、「椅子からの立ち上がりには必要」「転倒に対する不安が大きい」の割合が特に高くなっています。

図 2.19 運動の回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

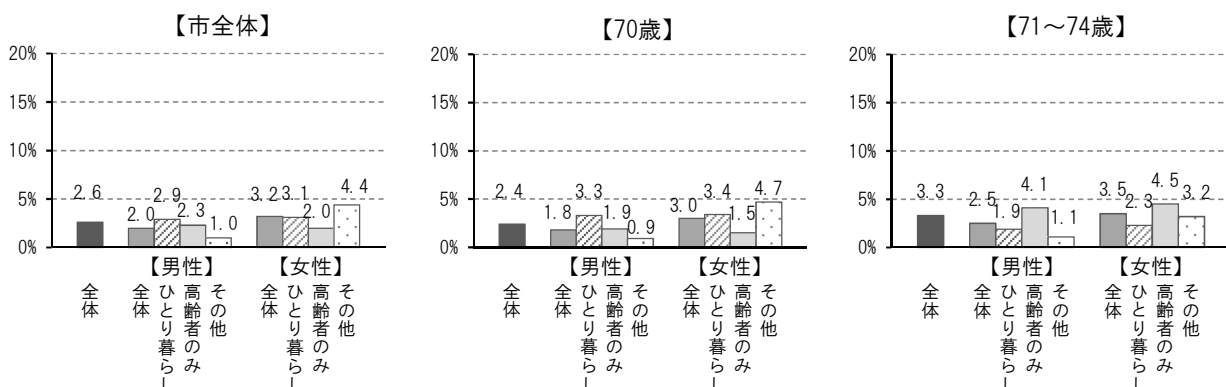
2-問1) 階段昇降時に手すりや支えが必要



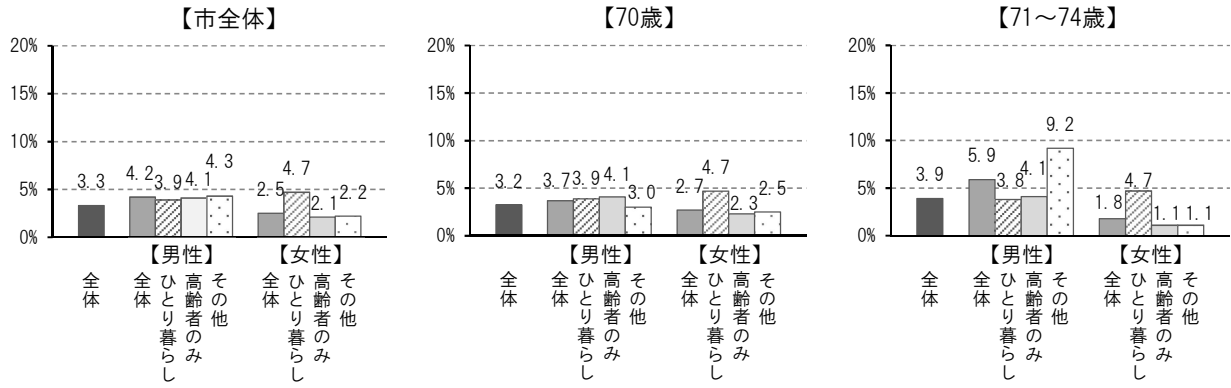
2-問2) 椅子からの立ち上がりには必要



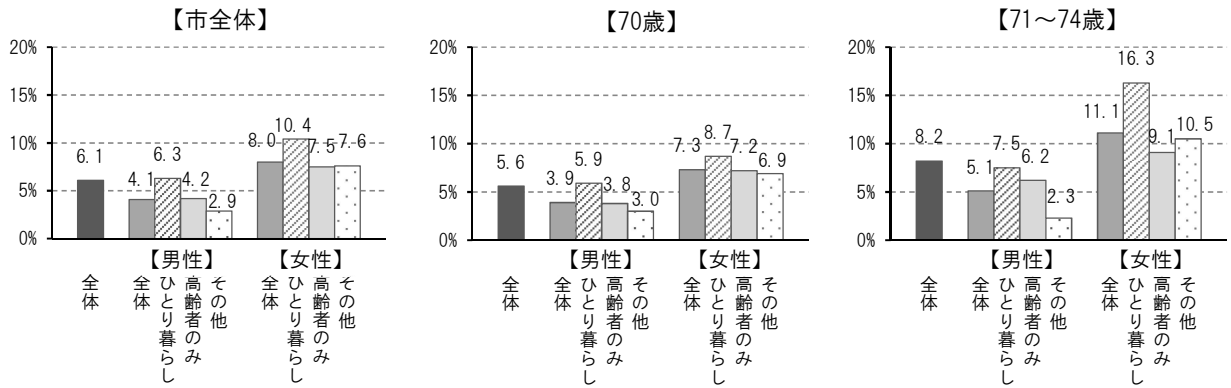
2-問3) 15分位続けて歩行していない



3-問1) この1年間に転んだことがある



3-問2) 転倒に対する不安が大きい



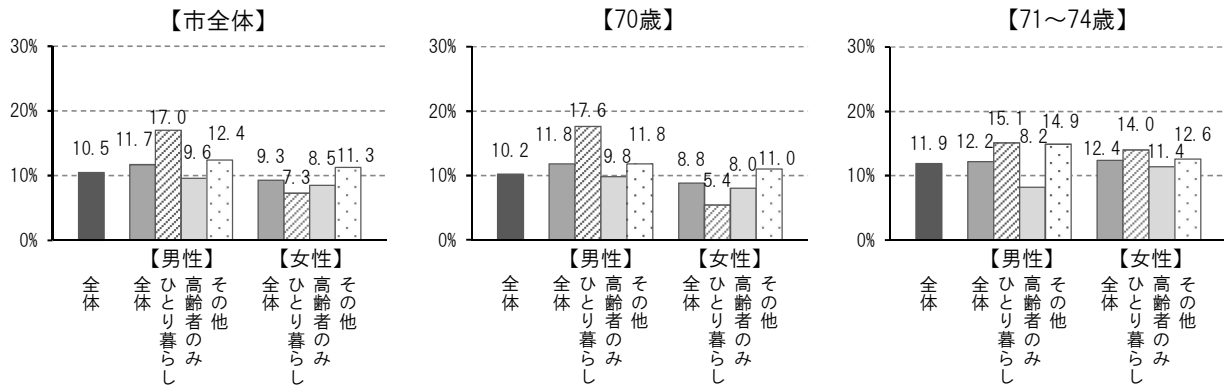
栄養の回答結果

「栄養リスク」については、「6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少があった」は、70歳の男性のひとり暮らし世帯、71～74歳の男女ひとり暮らし世帯で高くなっています。

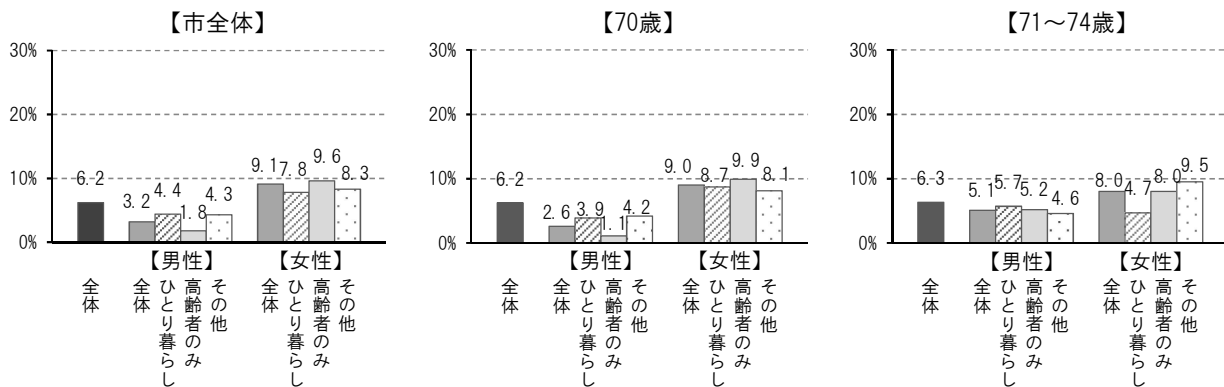
BMIが18.5未満（やせている）の割合をみると、全ての世帯で女性が男性を上回っています。

図 2.20 栄養の回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

4-問1) 6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少があった



4-問2) やせている (BMI < 18.5)



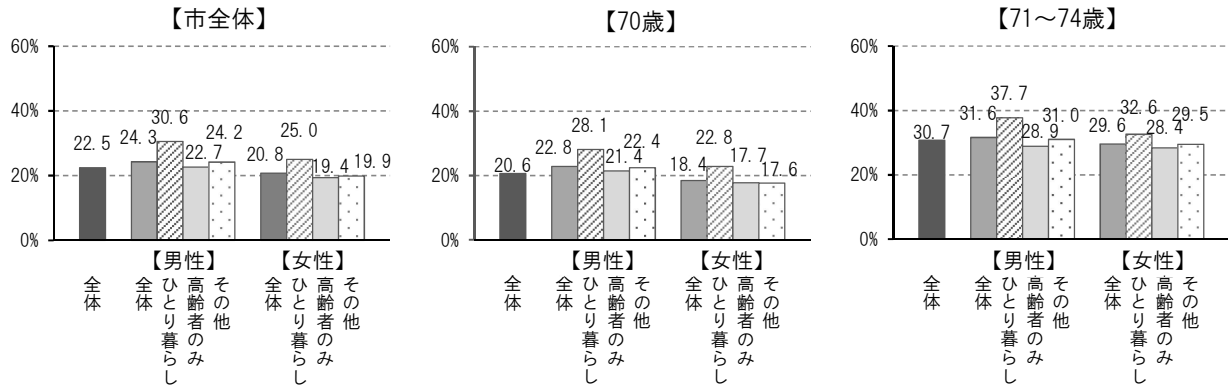
口腔の回答結果

「口腔リスク」については、「半年前と比べて固いものが食べにくくなった」割合を市全体でみると、男女ともにひとり暮らし世帯が高くなっています。

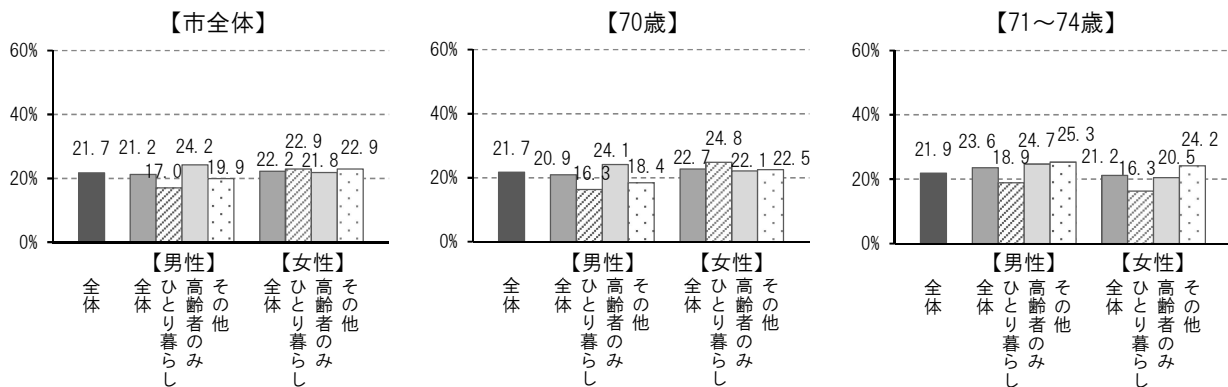
「半年前と比べて固いものが食べにくくなった」「口の渇きが気になる」で、71～74歳の男女ともにひとり暮らし世帯で割合が高くなっています。

図 2.21 口腔の回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

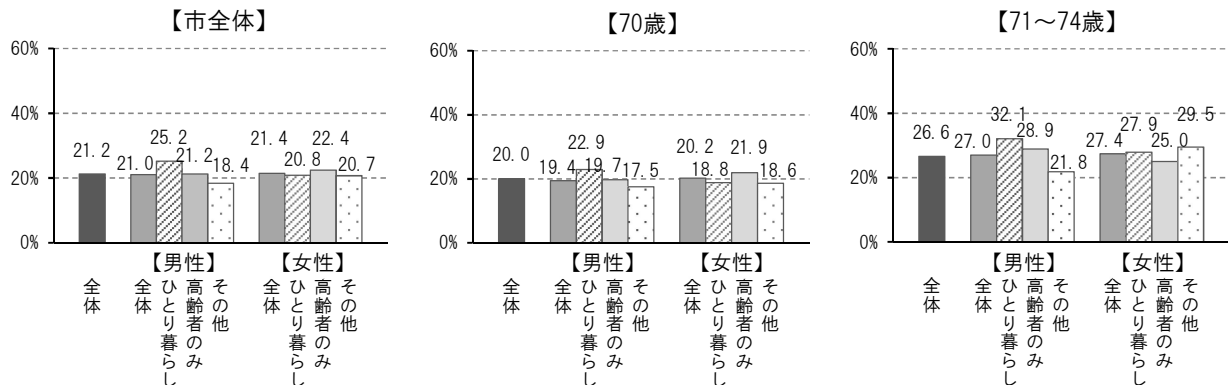
4-問3) 半年前と比べて固いものが食べにくくなった



4-問4) お茶や汁物等でむせることがある



4-問5) 口の渇きが気になる

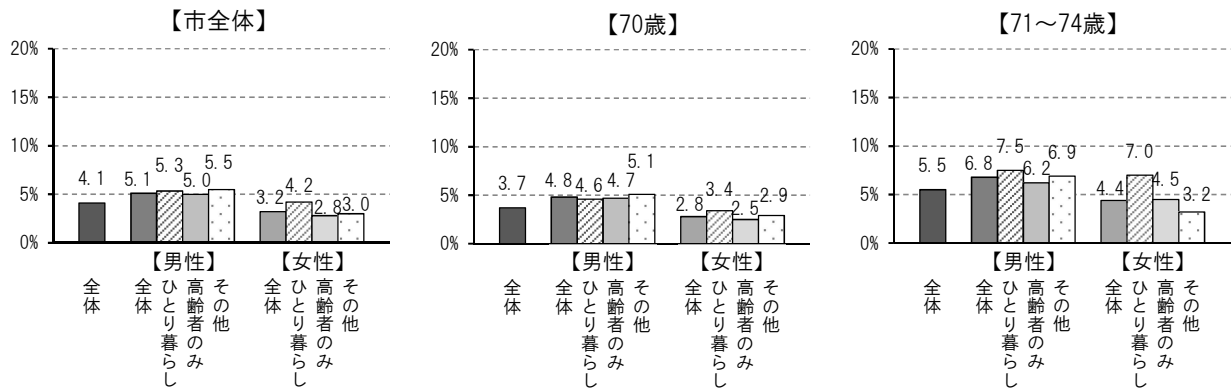


外出の回答結果

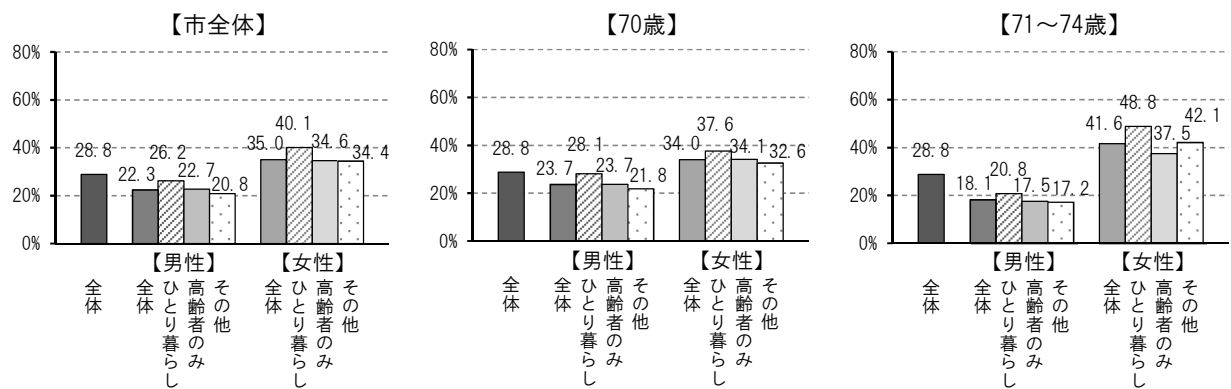
「外出リスク」については、「昨年と比べて外出回数が減った」割合をみると、男女ともにひとり暮らし世帯の割合が高くなっています。

図 2.22 外出の回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

2-問4）週に1回以上外出していない



2-問6）昨年と比べて外出回数が減った



物忘れの回答結果

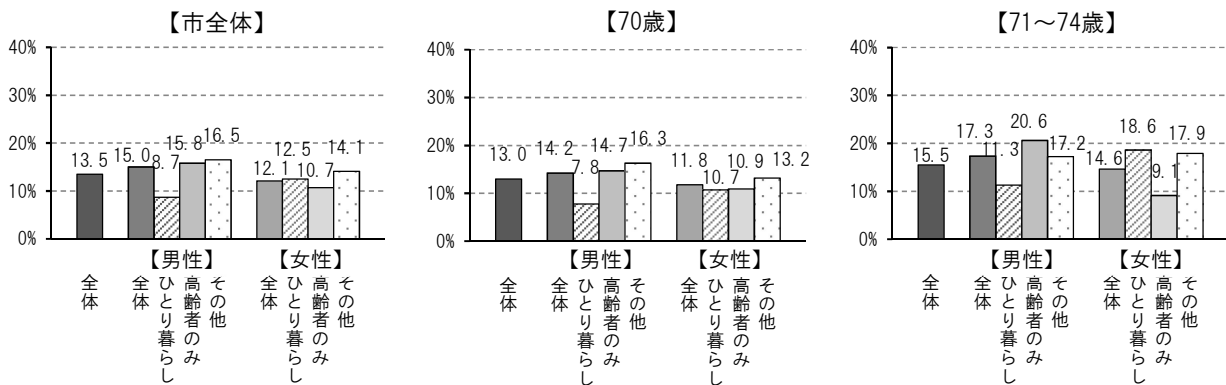
「物忘れリスク」について、「いつも同じことを聞く」などの物忘れを指摘される割合は、70歳は男女ともにその他世帯が、71～74歳の男性は高齢者のみ世帯が、女性はひとり暮らし世帯が比較的高くなっています。

「自分で電話番号を調べて電話をかけていない」割合は、70歳は女性のひとり暮らし世帯が、71～74歳は男女ともにひとり暮らし世帯が高くなっています。

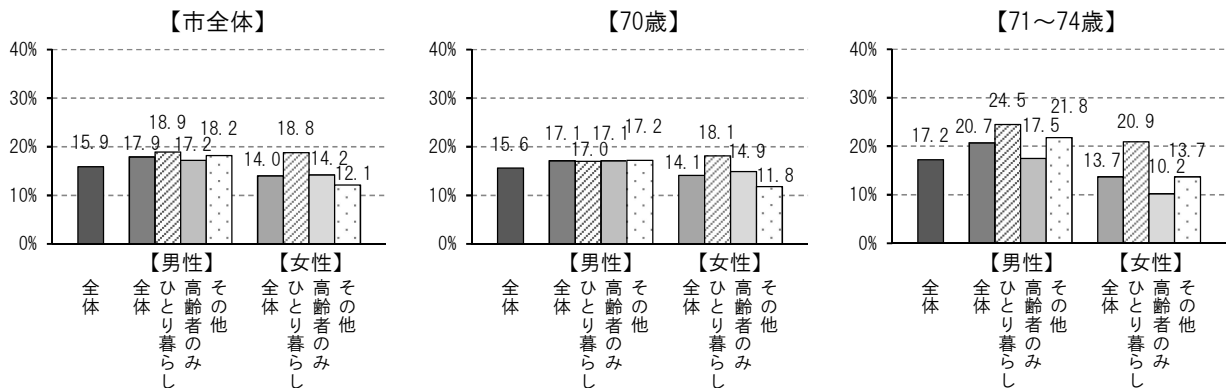
「今日が何月何日かわからない時がある」割合は、70歳は男女ともにひとり暮らし世帯が、71～74歳の男性はその他世帯が、女性は高齢者のみ世帯が高くなっています。

図 2.23 物忘れの回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

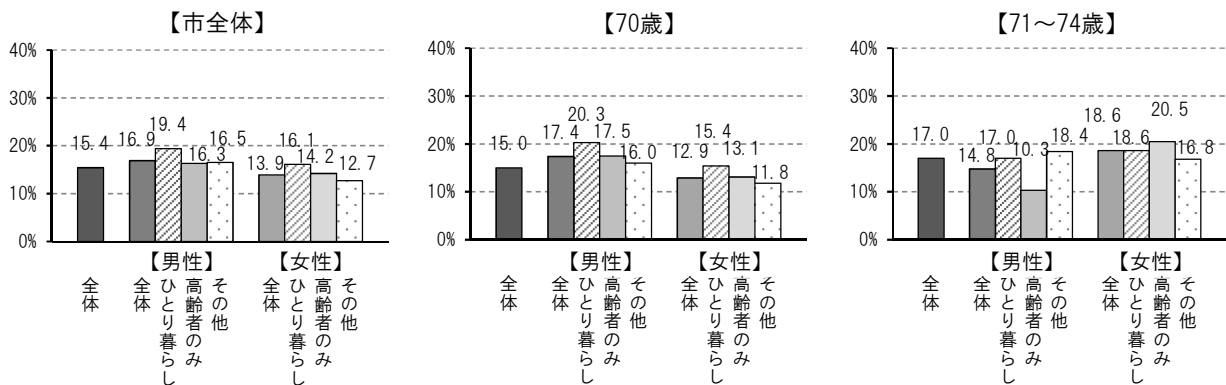
5-問1) 「いつも同じことを聞く」などの物忘れを指摘される



5-問2) 自分で電話番号を調べて電話をかけていない



5-問3) 今日が何月何日かわからない時がある



こころの回答結果

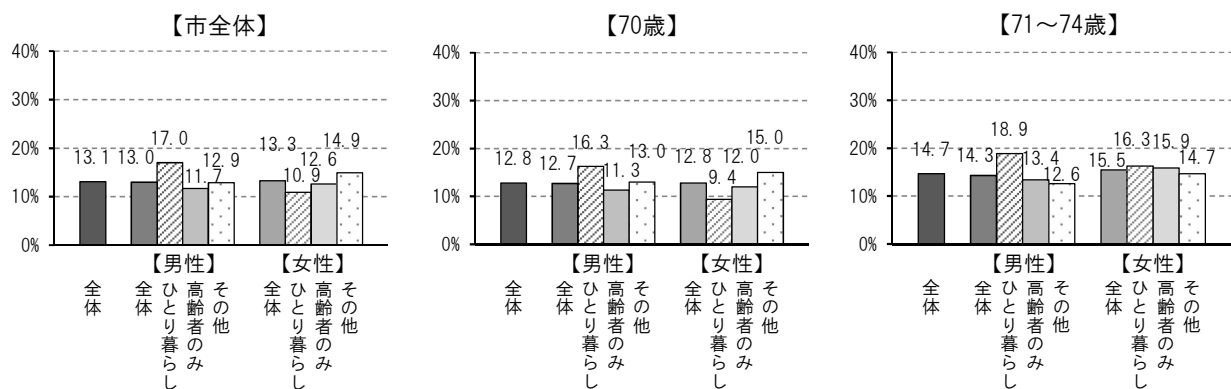
「こころリスク」を市全体でみると、男性は全ての項目でひとり暮らし世帯の割合が高くなっています。

「楽にできていたことが今ではおっくうに感じる」では、71～74歳の男女のひとり暮らし世帯が特に高くなっています。

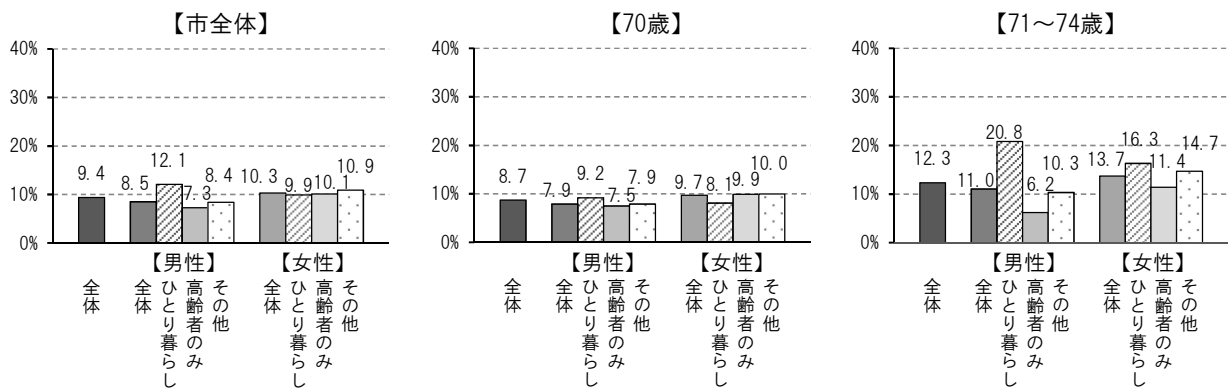
「自分が役に立つ人間だと思えないことがある」では、70歳・71～74歳の男女のひとり暮らし世帯が、「わけもなく疲れたような感じがする」では、71～74歳の男女のひとり暮らし世帯が高くなっています。

図 2.24 こころの回答結果（性別・家族構成別・年齢階級別）

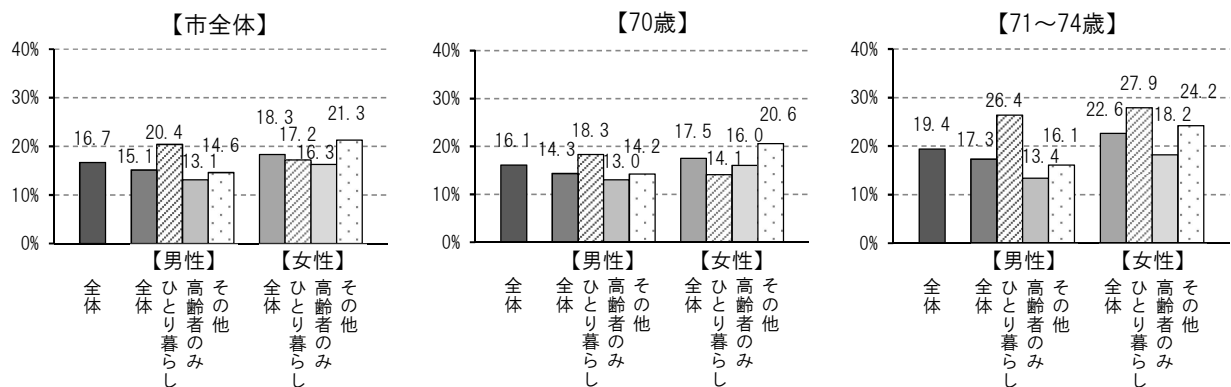
8-問3) 毎日の生活に充実感がない



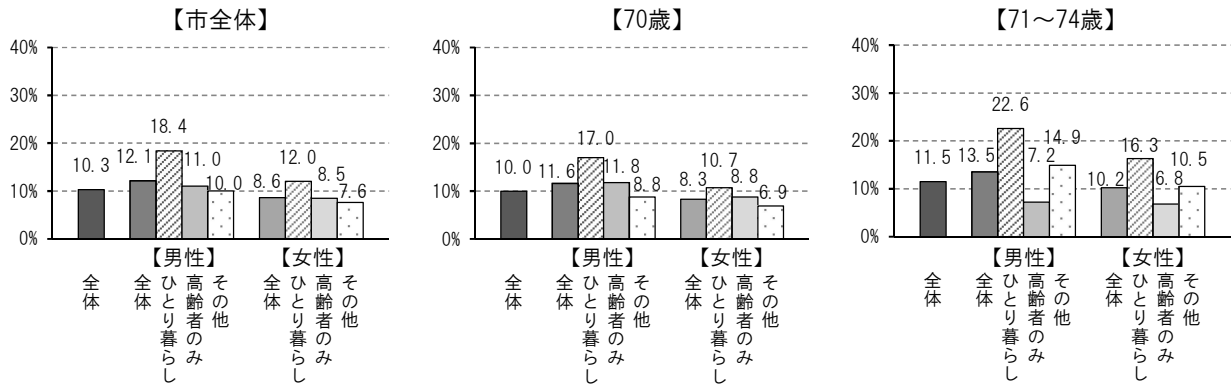
8-問4) 楽しんでやれたことが楽しめなくなった



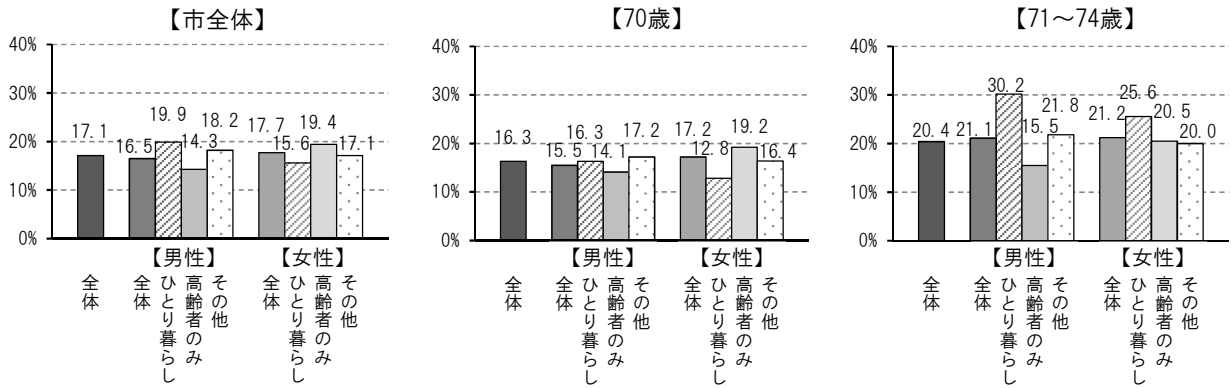
8-問5) 楽にできていたことが今ではおっくうに感じる



8-問6) 自分が役に立つ人間だと思えないことがある



8-問7) わけもなく疲れたような感じがする



6 他リスクとの関連

他のリスクと重複している人数を市全体でみると、「物忘れリスク」と「こころリスク」との重複が259人、「口腔リスク」と「物忘れリスク」との重複が233人、「口腔リスク」と「こころリスク」との重複が160人となっています。「物忘れリスク」が「こころリスク」、「口腔リスク」と関連が高い結果となっています。

表 2.25 他リスクとの重複割合（市全体） 単位：上段/人 下段/%

項目	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
暮らしリスク	34 100.0	23 44.2	4 14.3	29 6.5	12 11.7	29 3.3	24 5.3
運動リスク	23 67.6	52 100.0	1 3.6	25 5.6	12 11.7	33 3.8	28 6.2
栄養リスク	4 11.8	1 1.9	28 100.0	11 2.5	1 1.0	17 1.9	13 2.9
口腔リスク	29 85.3	25 48.1	11 39.3	448 100.0	24 23.3	233 26.5	160 35.5
外出リスク	12 35.3	12 23.1	1 3.6	24 5.4	103 100.0	59 6.7	36 8.0
物忘れリスク	29 85.3	33 63.5	17 60.7	233 52.0	59 57.3	880 100.0	259 57.4
こころリスク	24 70.6	28 53.8	13 46.4	160 35.7	36 35.0	259 29.4	451 100.0

図 2.26 他リスクとの重複人数（市全体）

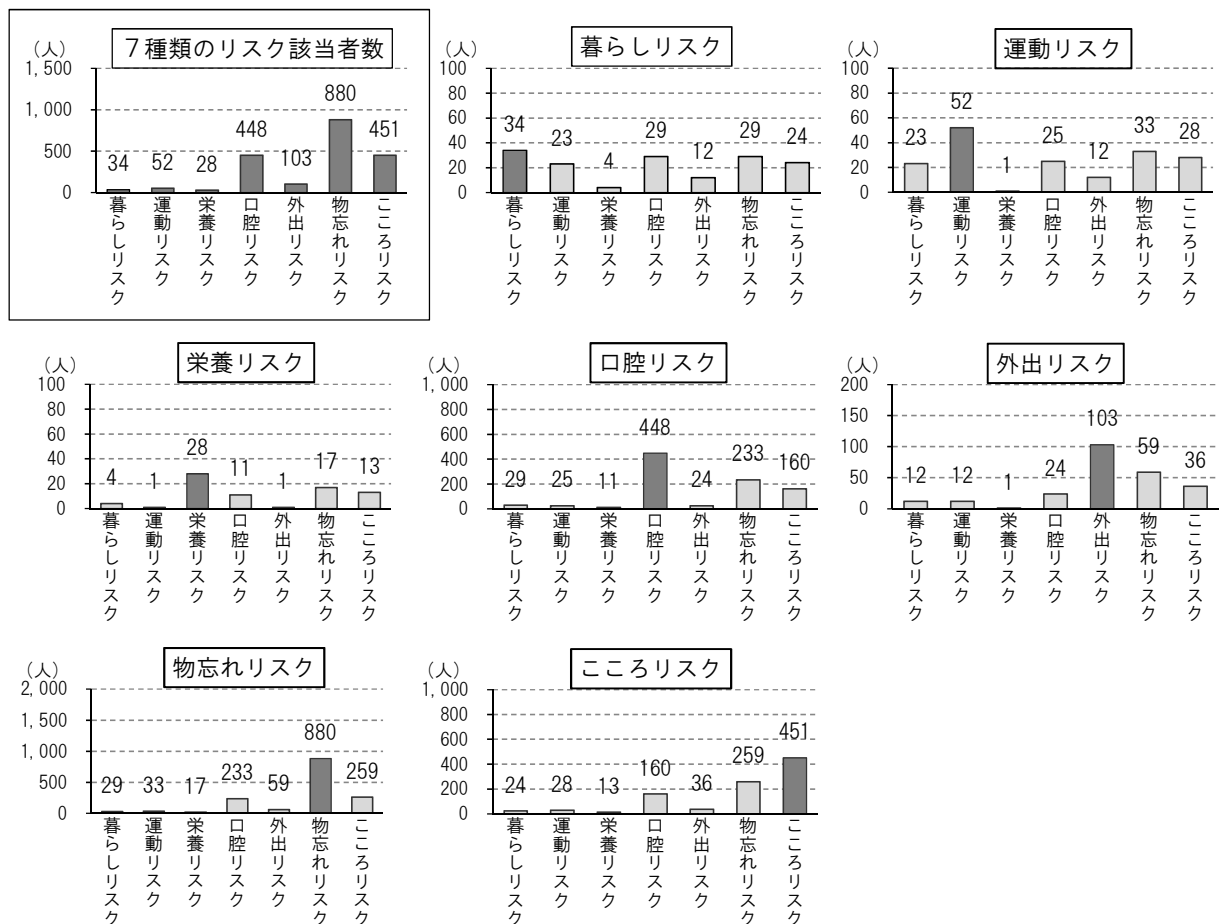


表 2.27 他リスクとの重複割合（70歳）

単位：上段/人 下段/%

項目	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
暮らしリスク	25 100.0	15 40.5	4 16.7	21 6.4	9 11.8	22 3.2	16 4.6
運動リスク	15 60.0	37 100.0	1 4.2	17 5.2	9 11.8	21 3.0	18 5.1
栄養リスク	4 16.0	1 2.7	24 100.0	9 2.7	1 1.3	15 2.2	11 3.1
口腔リスク	21 84.0	17 45.9	9 37.5	330 100.0	14 18.4	171 24.7	117 33.3
外出リスク	9 36.0	9 24.3	1 4.2	14 4.2	76 100.0	43 6.2	26 7.4
物忘れリスク	22 88.0	21 56.8	15 62.5	171 51.8	43 56.6	691 100.0	201 57.3
こころリスク	16 64.0	18 48.6	11 45.8	117 35.5	26 34.2	201 29.1	351 100.0

図 2.28 他リスクとの重複人数（70歳）

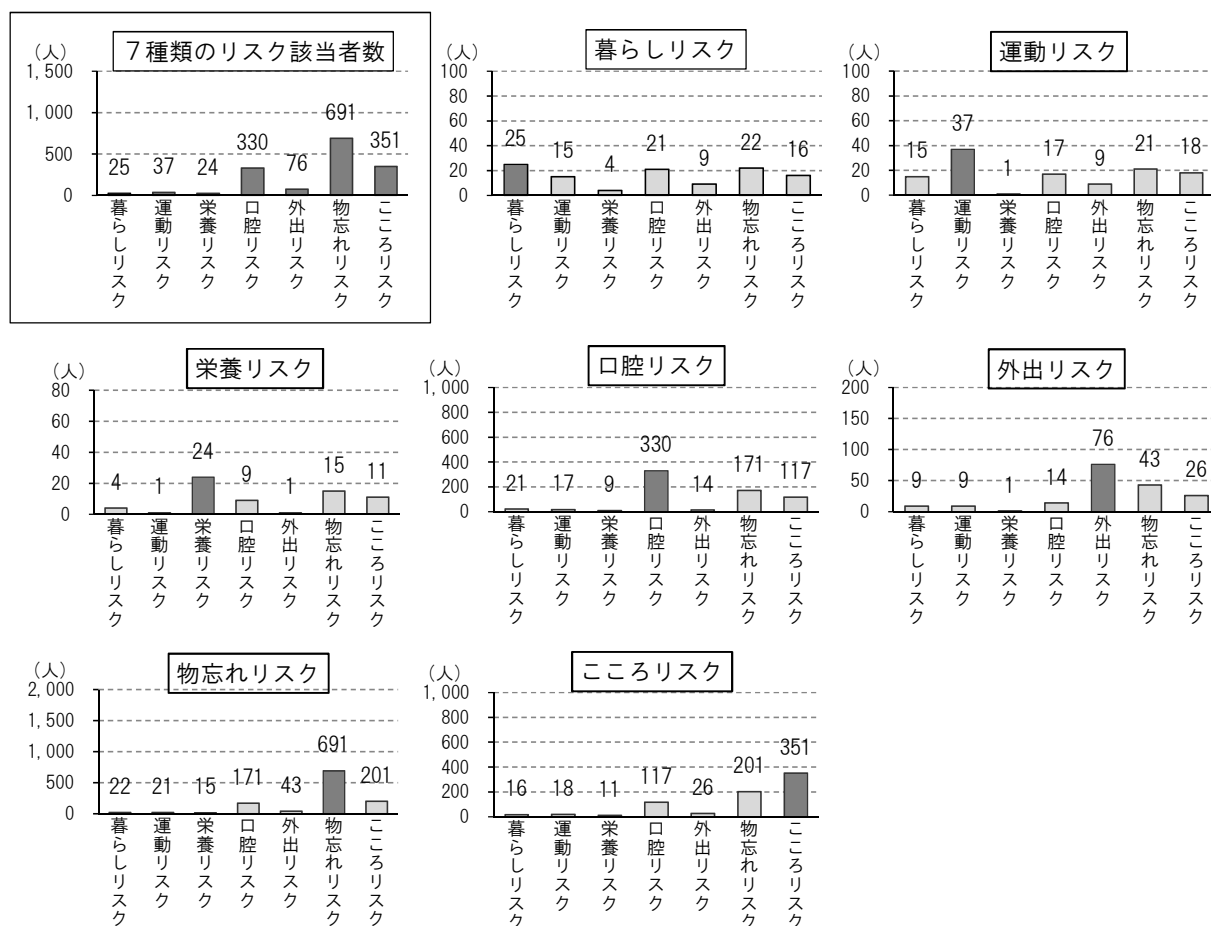


表 2.29 他リスクとの重複割合 (71~74 歳)

単位：上段/人 下段/%

項目	暮らし リスク	運動 リスク	栄養 リスク	口腔 リスク	外出 リスク	物忘れ リスク	こころ リスク
暮らしリスク	9 100.0	8 53.3	0 0.0	8 6.8	3 11.1	7 3.7	8 8.0
運動リスク	8 88.9	15 100.0	0 0.0	8 6.8	3 11.1	12 6.3	10 10.0
栄養リスク	0 0.0	0 0.0	4 100.0	2 1.7	0 0.0	2 1.1	2 2.0
口腔リスク	8 88.9	8 53.3	2 50.0	118 100.0	10 37.0	62 32.8	43 43.0
外出リスク	3 33.3	3 20.0	0 0.0	10 8.5	27 100.0	16 8.5	10 10.0
物忘れリスク	7 77.8	12 80.0	2 50.0	62 52.5	16 59.3	189 100.0	58 58.0
こころリスク	8 88.9	10 66.7	2 50.0	43 36.4	10 37.0	58 30.7	100 100.0

図 2.30 他リスクとの重複人数 (71~74 歳)

